

水土里情報システム Ver.3 操作研修会テキスト

基本操作編



水土里ネット長崎

平成 30 年 8 月改訂版



目 次

はじめに・・・	- 1 -
1. ログイン	- 2 -
2. 画面構成	- 5 -
3. レイヤの追加・削除	- 6 -
4. 地図の拡大・縮小・移動	- 8 -
5. 属性参照	- 10 -
6. 検索	- 13 -
7. フィルタ機能（値フィルタ）	- 14 -
8. 主題図（色分）機能	- 17 -
9. 透過機能	- 27 -
10. ラベル設定機能	- 28 -
11. 計測および集計	- 35 -
12. 作図	- 37 -
13. 属性情報のインポート・エクスポート	- 38 -
14. 写真データの取込み	- 42 -
15. 印刷	- 45 -
16. 保存	- 50 -
17. システムの終了	- 51 -



はじめに・・・

利用を開始する前にパソコンの初期設定が必要です。

システム用 PC に Java のランタイム環境がインストールされている必要があります。

Java がインストールされていない場合は、水土里ネット長崎の HP よりダウンロードを行って下さい。
Java のインストールが済んでいる PC は、そのままシステムの利用が可能です。ただし、当会が推奨するバージョンと違う場合、システム動作に不具合が生じる場合があります。そのときは、一度 Java をアンインストールし、推奨バージョンのインストールをお願いします。

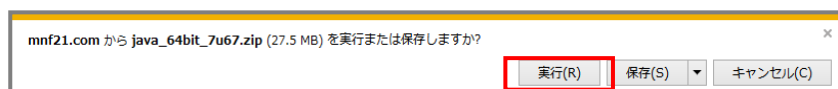
Java プログラムのインストール・アンインストールは管理者権限で行って下さい。

Java プログラムのインストール・アンインストールについては情報担当部門への確認を事前に行って下さい。

【Java のインストール手順】

システム用 PC に合せて 32bit 版または 64bit 版を選択し、クリックします。

下記画面が起動したら[実行]をクリックします。



Java のセットアップ画面が起動したら[インストール]をクリックします。

完了画面が起動したら正常にインストールが終了しています。[閉じる]をクリックして完了です。



もし、システム用 PC に推奨バージョン以前の Java がインストールされていた場合は下記のようなメッセージが表示されますので、アンインストールし作業を完了させて下さい。





1. ログイン

水土里情報システム アドレス：<https://midori.geocloud.jp/nagasaki/?mode=admin>

上記アドレスにアクセスします。



アクセス後に【お気に入り】へ追加しておくと次回からは【お気に入り】よりアクセスできます。

利用条件が表示されるので確認後、[同意する]をクリックします。

[同意しない]をクリックした場合はシステムにログイン出来ません。

配布されるユーザID・パスワードを入力し[OK]をクリックします。

ユーザID及びパスワードはテキスト・ワードファイル等にメモしておくことで コピー&ペースト できます。

複製・貼り付け

同じIDでの同時ログインはできません。

IDとパスワードは大文字、小文字の判別があります。



コンテンツを選択します。

上段は所属団体の管轄範囲の背景図（航空写真・道路地図）がデフォルト（初期表示）で設定されています。

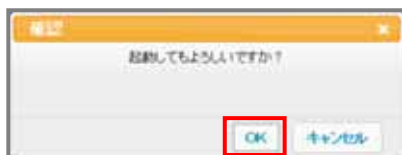
例：99999_研修用

新規でコンテンツを作成する場合は下段の[新規作成]を選択します。

ローカル(利用者端末)に保存しているコンテンツを読み込む場合は下段の [ローカルファイル]を選択します。



起動確認画面で[OK]をクリックします。



Java Update の確認画面が起動します。

[後で 続行し、後でもう一度更新を通知します。]をクリックします。

Java 最新版への更新を行うとシステムの動作環境に影響を及ぼす可能性があります。

システム推奨のバージョンで利用して下さい。

[次の更新が利用可能になるまでメッセージを表示しません。]に✓を入れると次回起動時からはメッセージが表示されません。



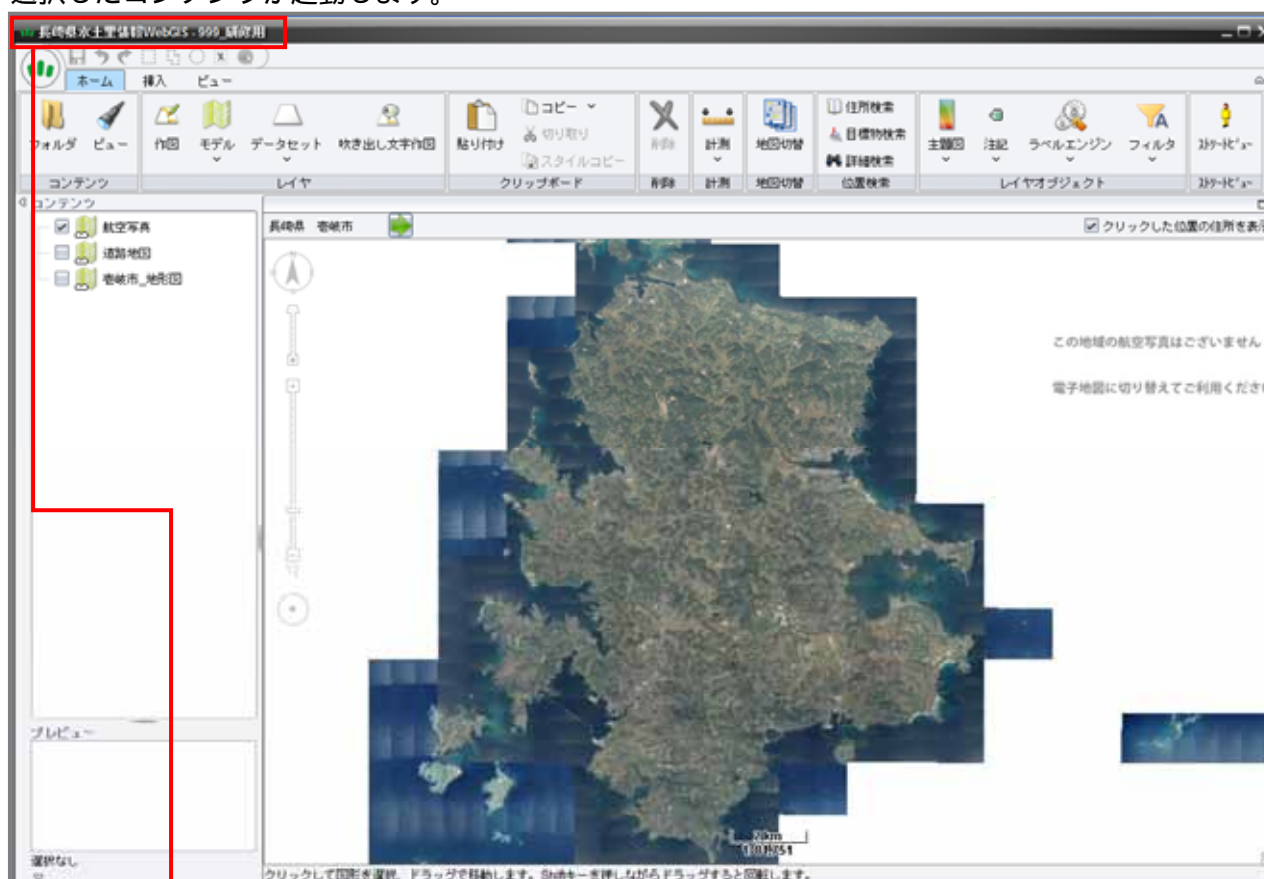


次にアプリケーション実行確認画面が起動します。

[この発行者および前述の場所からのアプリケーションでは、次回から表示しない]に✓を入れて[実行]をクリックします。



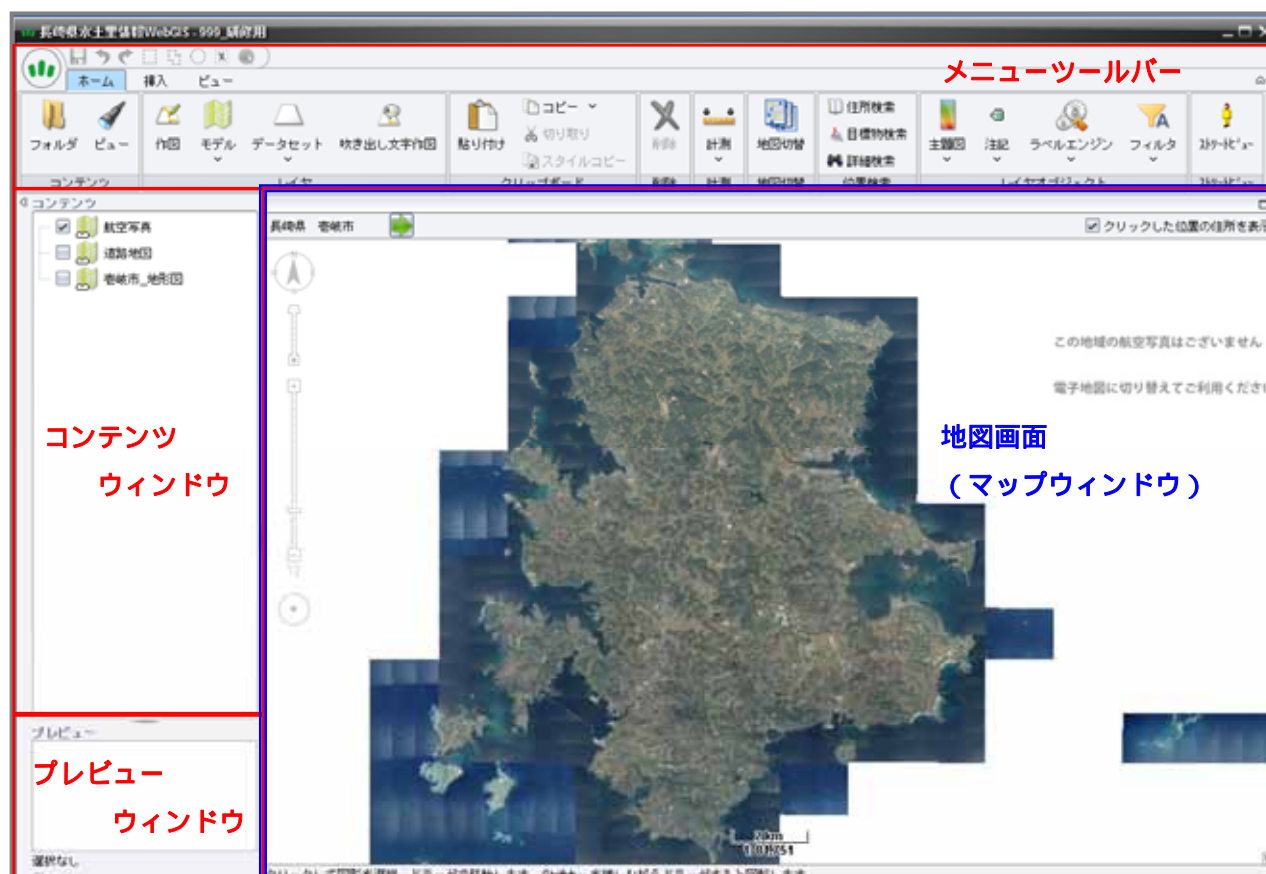
選択したコンテンツが起動します。



長崎県水土里情報WebGIS - 999_研修用

画面上部にコンテンツ名が表示されます。

2. 画面構成



メニューツールバー：地図操作を行う際の操作コマンドを機能別に表示しています。

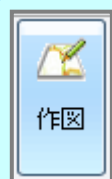
コンテンツウィンドウ：読み込んでいる背景図及びレイヤ等を表示・管理しています。

プレビューウィンドウ：コンテンツウィンドウで選択しているレイヤ等のプレビューを表示します。

【メニューツールバー】



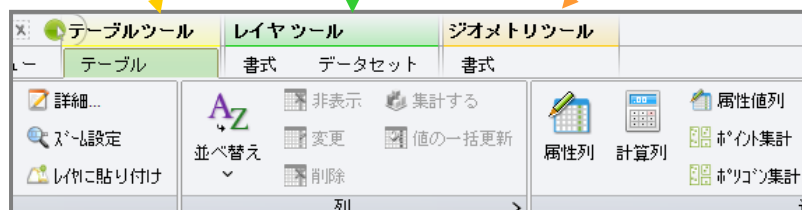
パネル名



作図

新規に作図先のレイヤを作成します。

操作ボタンにカーソルを合わせると
操作の説明文が表示されます。



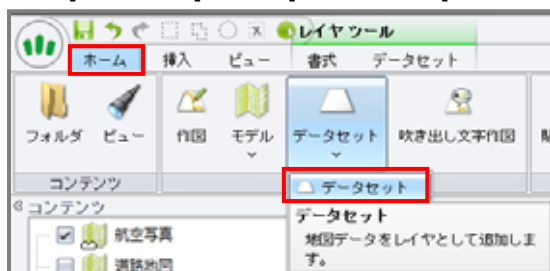
コンテンツウィンドウ内で選択しているデータ（レイヤ）によって
表示されるタブも変わります。



3. レイヤの追加・削除

3.1. レイヤの追加

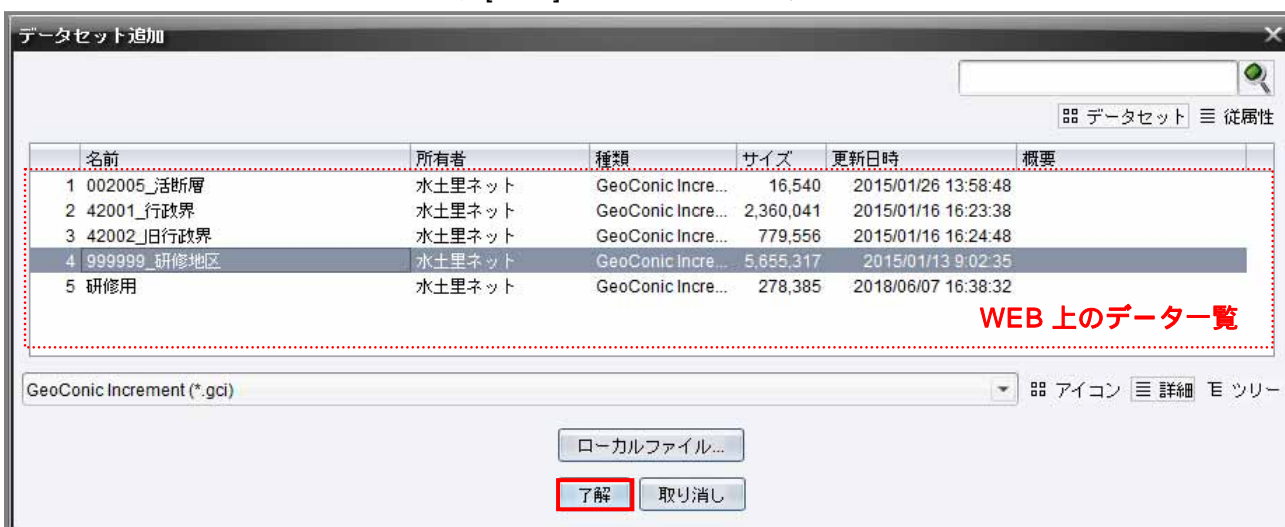
[ホーム]タブ [レイヤ]パネル [データセット] [データセット]を選択します。



読み込み可能なデータセット一覧（サーバ側）が表示されます。

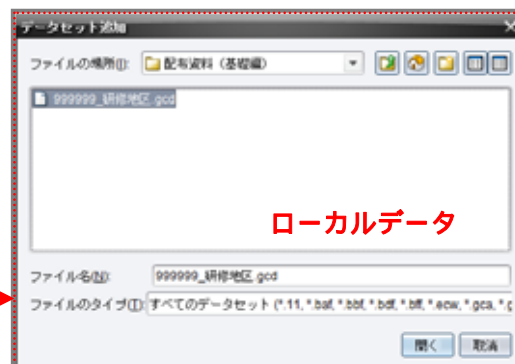
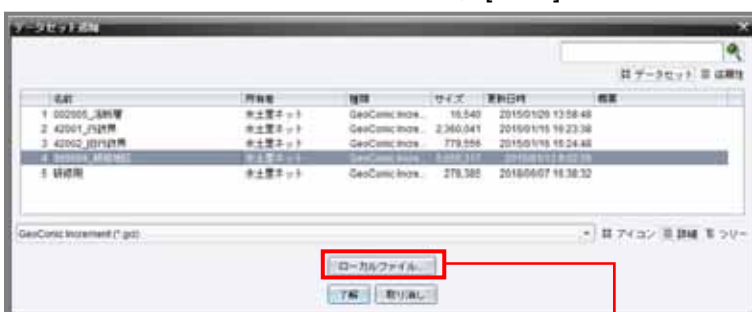
水土里情報システム内で、データセットとは図形と属性が組み合わさったレイヤのことを言います。

読み込みたいデータセットを選択し、[了解]をクリックします。



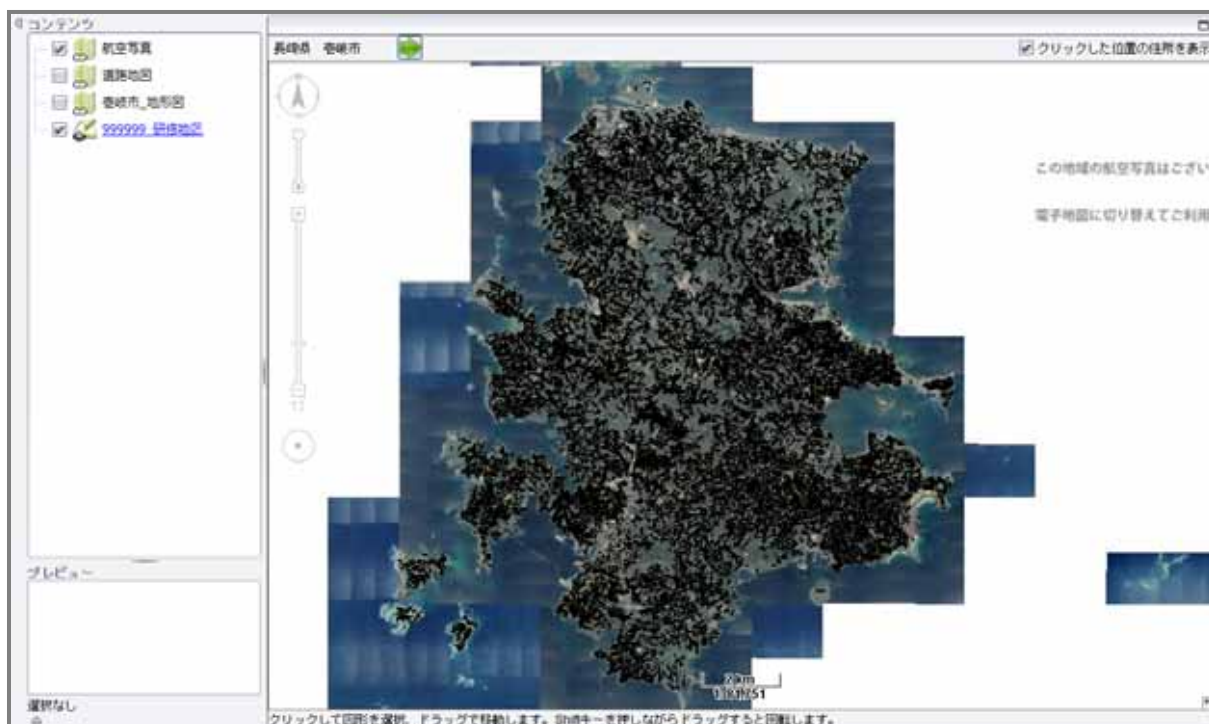
また、ローカル（利用者端末等）にデータセットを保存している場合は、[ローカルファイル]をクリックします。

読み込みたいデータセットを選択し、[開く]をクリックします。

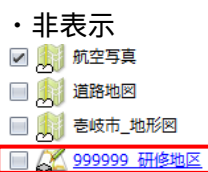
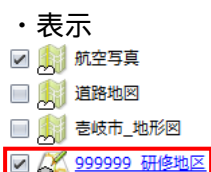




読み込んだデータセットが地図画面とコンテンツウィンドウに表示されます。



レイヤの表示 / 非表示切替はコンテンツウィンドウのチェックボックスの切替で行うことができます。



表示順序はコンテンツウィンドウで下位にあるレイヤが地図画面では上位に表示されます。

Web (サーバ) レイヤとローカル (利用者端末) レイヤのアイコンが異なりますのでどちらのレイヤを利用しているかの判断ができます。

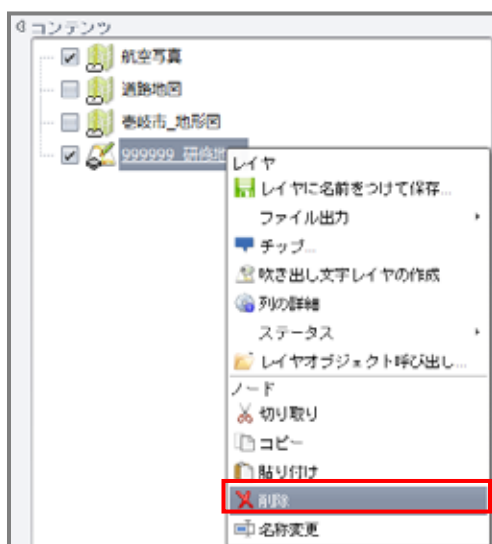


} Web (サーバ) レイヤ
 ... ローカル (利用者端末等) レイヤ

3.2. レイヤの削除

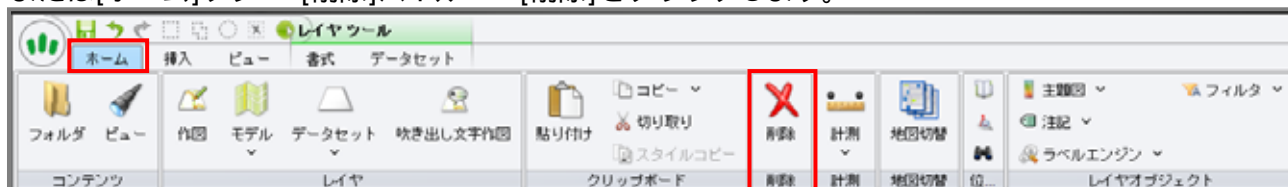
コンテンツウィンドウの中から削除したいレイヤを選択します。

右クリックメニューの中から削除を選択します。





または[ホーム]タブ [削除]パネル [削除]をクリックします。



地図画面とコンテンツウィンドウから選択したレイヤが削除されます。

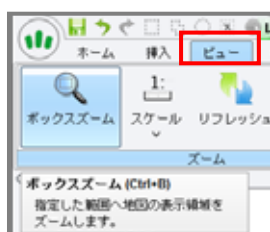
この削除機能は画面上での削除のため、データ自体はWeb（サーバ）またはローカル（利用者端末）に残っています。

ただし、Webまたはローカルに保存していない場合は、データの完全削除になるので気をつけて下さい。

4. 地図の拡大・縮小・移動

4.1. 地図の拡大

パターン ボックスズームによる拡大
[ビュー]タブ [ズーム]パネル [ボックスズーム]
をクリックします。地図画面で拡大したい範囲を
左クリックで指定します。



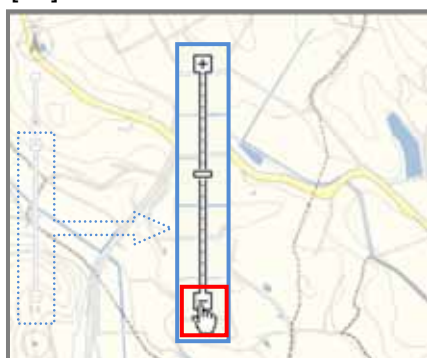
パターン スケールスライダによる拡大
地図画面の左上にあるスケールスライダの
[+]をクリックすると一定範囲で拡大します。



パターン マウスのホイールを上回転させると一定範囲で拡大します。

4.2. 地図の縮小

パターン スケールスライダによる縮小
地図画面の左上にあるスケールスライダの
[-]をクリックすると一定範囲で縮小します。



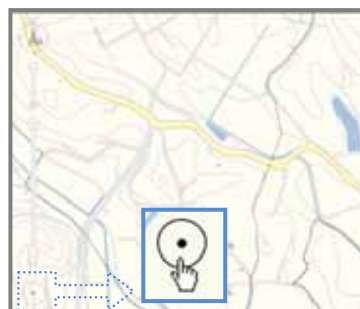
パターン マウスのホイールを手前に
回転させると一定範囲で縮小します。

4.3. 地図の移動

パターン 画面上を ドラッグ&ドロップすると指定した方向へ地図が移動します。

クリックしたまま別の場所に移動しマウスをはなす動作

パターン 地図画面左のジョイスティックボタンを左クリックすると指定した方向へ地図が移動します。

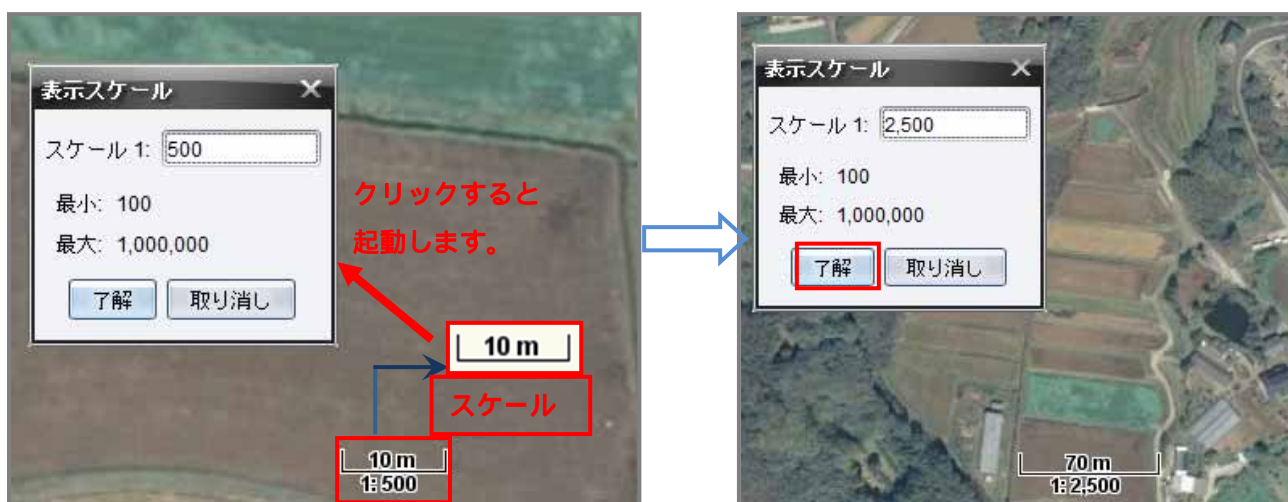


パターン レイヤの全体表示

コンテンツウィンドウのレイヤで表示させたいレイヤをダブルクリックするとそのレイヤが地図画面に全体表示されます。

パターン スケール値の入力による地図の移動

地図画面の真ん中下に表示しているスケールをクリックすると表示スケール画面が起動します。表示させたい縮尺を入力し、[了解]をクリックすると、その縮尺範囲に地図が移動します。



パターン 地図の回転移動

地図画面左上にある方位記号マークにカーソルをあて、方位記号をドラッグしながら回転させると地図も回転します。





方位記号マーク上で左クリックするとビュー角度画面が起動します。角度を手入力し、[了解]をクリックすると地図画面が時計回りに回転移動します。



[リセット]をクリックし[了解]をクリックすると角度 0 に戻ります。




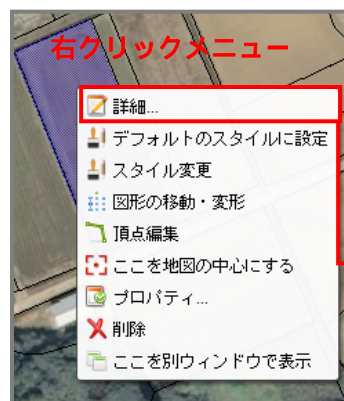
5. 属性参照

5.1. 個別参照

地図画面上で属性参照したい図形をダブルクリックすると個別属性画面が起動します。

個別属性画面の上部にマウスポインタをあてるとカーソルが  から  へ変わります。

 の状態でドラッグすると個別属性画面が移動します。



または地図画面上で図形を左クリックで選択し右クリックします。メニューの中から[詳細]を選択すると個別属性画面が起動します。





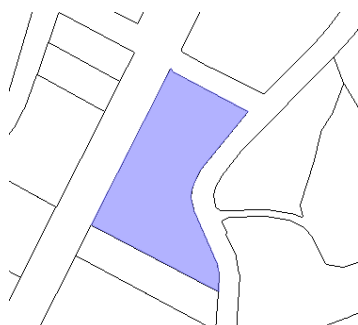
テーブル画面上で行番号をダブルクリックします。

地図画面上で選択した図形へズーム・ハイライト（強調）します。

ダブルクリック

ズーム
ハイライト

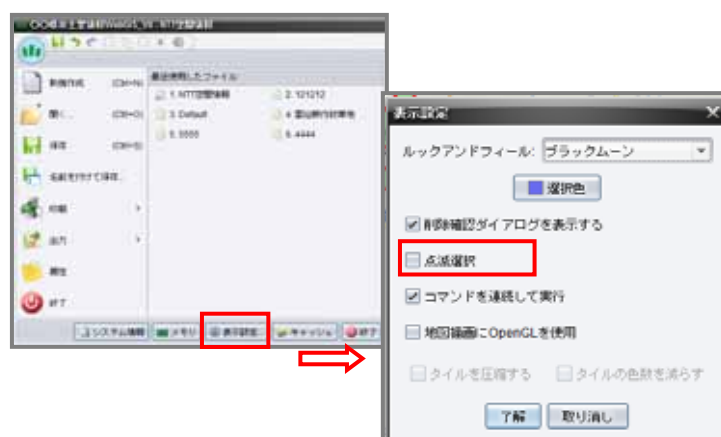
選択した図形は下図のようにハイライト（強調）表示されます。色設定を行っていると色がかぶってわかりにくい場合があります。選択されている図形がどれかわかりやすくするために、点滅表示を行うこともできます。



[ホーム]ボタン [表示設定]

[点滅選択]にチェックを入れます。

選択時に点滅表示を行うようになります。
この設定はパソコンごとの設定になります
ので、利用者個人ごとにわかりやすい方法
を選択下さい。





6. 検索（属性によるテーブル検索）

対象レイヤ(単一)の属性値による検索ができます。

属性検索を行いたいレイヤのテーブルを表示させます。【5.2.テーブル表示 P11】を参照して下さい。

テーブル全体から検索したい場合

テーブルの上部にある空白欄に検索したい属性値を手入力、またはキーボードの Ctrl キー+V キーで貼り付けます。

🔍 をクリックするとテーブル内で対象の属性値を検索し、セルがハイライト表示（強調）されます。検索結果が複数個ある場合は 🔍 のクリックで順番に対象セルが表示されます。

1 つ前の検索結果に戻りたい場合は 🔍 をクリックします。

	市町名	大字名	小字名	地番	株番	表示地番	登記簿地目	登記簿面積	突合KEY	子番	孫番
10	沓崎市	東融									
11	沓崎市	東融									
12	沓崎市	東融									
13	沓崎市	東融									
14	沓崎市	東融									
15	沓崎市	東融									
16	沓崎市	東融									
17	沓崎市	東融									
18	沓崎市	東融									
19	沓崎市	東融									
合計	61,226	フィルタ結果	61,226								

	市町名	大字名	小字名	地番	株番	表示地番	登記簿地目	登記簿面積	突合KEY	子番	孫番
25	沓崎市	東融	赤石	2242		2242	田	1,357	東融/2242		
26	沓崎市	東融	小高瀬	2233		2233	田	903	東融/2233		
27	沓崎市	仲融	藤田	87	1	87-1	田	268	仲融/87-1		
28	沓崎市	仲融	藤田	87	3	87-3	田	191	仲融/87-3		
29	沓崎市	東融	小高瀬	2232	1	2232-1	田	727	東融/2232-1		
30	沓崎市	仲融	藤田	87	4	87-4	田	60	仲融/87-4		
31	沓崎市	仲融	藤田	87	5	87-5	田	264	仲融/87-5		
32	沓崎市	東融	境畑	1995		1995	田	304	東融/1995		
33	沓崎市	東融	境畑	1997		1997	田	552	東融/1997		
34	沓崎市	東融	赤岩	2245		2245	田	511	東融/2245		
合計	61,226	フィルタ結果	61,226								

行/列から検索したい場合

テーブルの上部にある空白欄に検索したい属性値を手入力します。検索したい行または列のセルを 1 つクリックし、検索方向を選択します。🔍 をクリックし、検索します。

	市町名	大字名	小字名	地番	株番	表示地番	登記簿地目	登記簿面積	突合KEY	子番	孫番
1	沓崎市	初山東融	満浦	1105	1	1105-1	田	1,074	初山東融/...		
2	沓崎市	東融	境畑	1964		1964	田	1,449	東融/1964		
3	沓崎市	東融	境畑	1960		1960	田	141	東融/1960		
4	沓崎市	東融	境畑	1965	1	1965-1	田	631	東融/1965-1		
5	沓崎市	東融	境畑	1972		1972	田	886	東融/1972		
6	沓崎市	東融	境畑	1946	2	1946-2	田	470	東融/1946-2		
7	沓崎市	東融	境畑	1974		1974	田	509	東融/1974		
8	沓崎市	東融	境畑	1975		1975	田	1,036	東融/1975		
合計	61,226	フィルタ結果	61,226								

	市町名	大字名	小字名	地番	株番	表示地番	登記簿地目	登記簿面積	突合KEY
1	沓崎市	初山東融	満浦	1105	1	1105-1	田	1,074	初山東融/...
2	沓崎市	東融	境畑	1964		1964	田	1,449	東融/1964
3	沓崎市	東融	境畑	1960		1960	田	141	東融/1960
4	沓崎市	東融	境畑	1965	1	1965-1	田	631	東融/1965-1
5	沓崎市	東融	境畑	1972		1972	田	886	東融/1972
6	沓崎市	東融	境畑	1946	2	1946-2	田	478	東融/1946-2
7	沓崎市	東融	境畑	1974		1974	田	509	東融/1974
8	沓崎市	東融	境畑	1975		1975	田	1,036	東融/1975
合計	61,226	フィルタ結果	61,226						

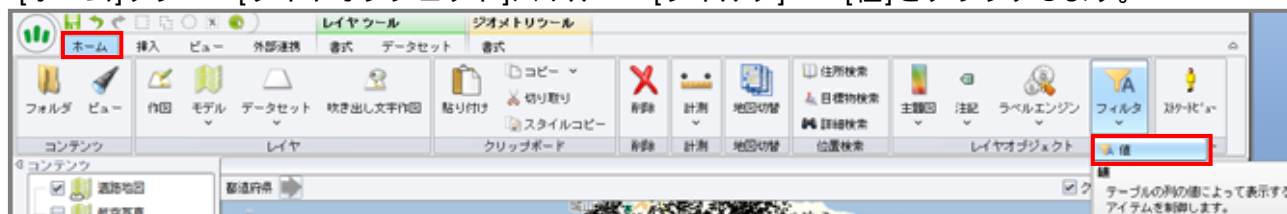


7. フィルタ機能 (値フィルタ)

レイヤ内の属性値によって図形にフィルタをかけることが出来ます。

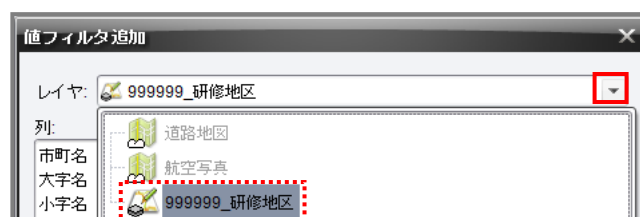
必要な図形のみを表示させた図面を作成することが出来ます。

[ホーム]タブ [レイヤオブジェクト]パネル [フィルタ] [値]をクリックします。



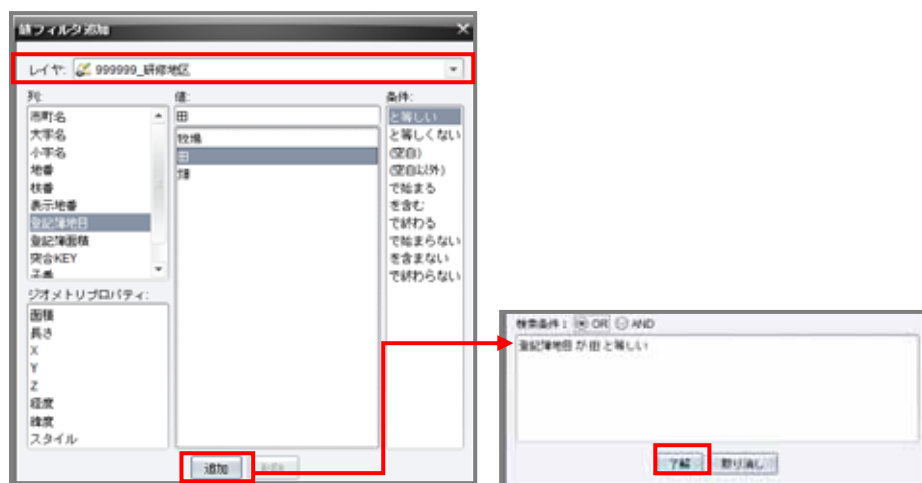
値フィルタ追加画面が起動します。

まず、フィルタ機能を追加するレイヤを選択します。



[列][値][条件]をそれぞれ選択し、[追加]をクリックします。[値]は手入力での設定も可能です。

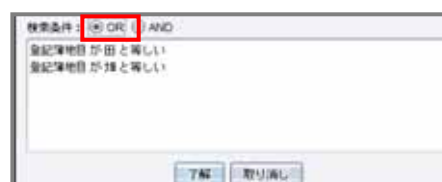
検索条件式に選択した条件が追加されます。



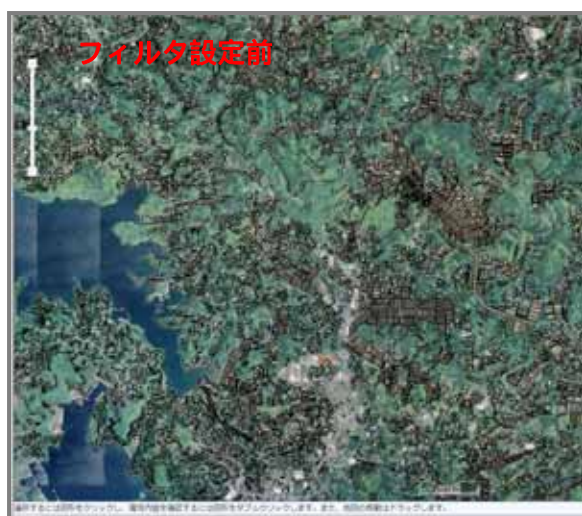
複数条件設定したい場合

検索条件で[OR]または[AND]を選択し

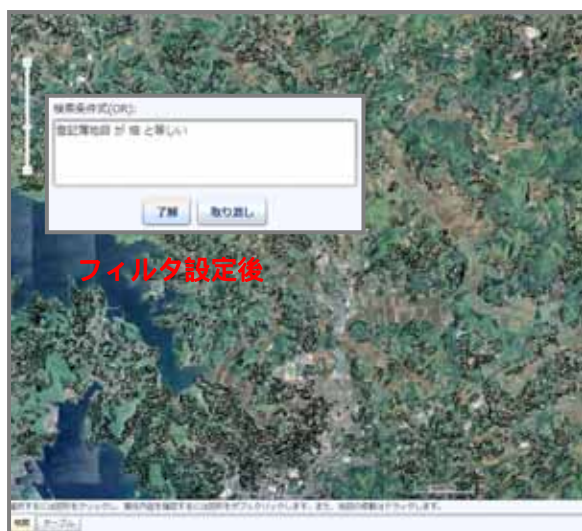
同じように条件の追加を行います。



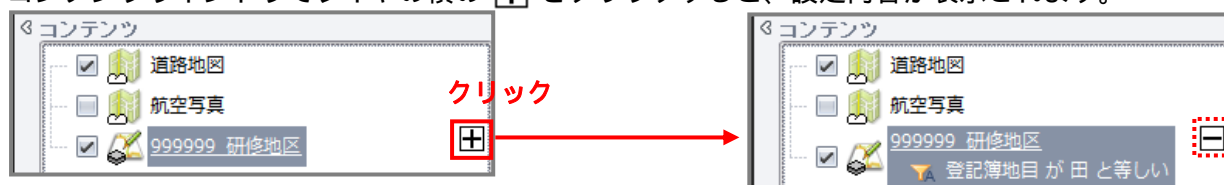
検索条件式を全て設定したら[了解]をクリックします。
地図画面に検索条件式に当てはまる図形のみ表示されます。





件数	氏名	小名	年齢	性別	出生地	現在居住地	現在職業	収入	備考
1	佐藤	太郎	1000	男	1970-01	佐	会社員	1,500	
2	佐藤	次郎	1004	男	1964	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
3	佐藤	三郎	1008	男	1960	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
4	佐藤	四郎	1005	男	1965-01	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
5	佐藤	五郎	1012	男	1957	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
6	佐藤	六郎	1006	男	1966-02	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
7	佐藤	七郎	1010	男	1962	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
8	佐藤	八郎	1015	男	1957	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
9	佐藤	九郎	1003	男	1967-02	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
10	佐藤	十郎	1005	男	1965-02	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
11	佐藤	一郎	1016	男	1956	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
12	佐藤	二郎	1017	男	1955	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
13	佐藤	三郎	1016	男	1956	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
14	佐藤	四郎	1009	男	1961	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
15	佐藤	五郎	1018	男	1958	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
16	佐藤	六郎	1003	男	1967	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
17	佐藤	七郎	1019	男	1955	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
18	佐藤	八郎	1020	男	1954	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
19	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
20	佐藤	十郎	1002	男	1968	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
21	佐藤	一郎	1000	男	1970	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
22	佐藤	二郎	1006	男	1966	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
23	佐藤	三郎	1004	男	1968	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
24	佐藤	四郎	1002	男	1968	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
25	佐藤	五郎	1002	男	1968	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
26	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
27	佐藤	七郎	1008	男	1962	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
28	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
29	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
30	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
31	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
32	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
33	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
34	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
35	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
36	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
37	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
38	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
39	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
40	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
41	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
42	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
43	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
44	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
45	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
46	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
47	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
48	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
49	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
50	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
51	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
52	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
53	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
54	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
55	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
56	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
57	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
58	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
59	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
60	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
61	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
62	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
63	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
64	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
65	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
66	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
67	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
68	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
69	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
70	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
71	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
72	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
73	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
74	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
75	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
76	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
77	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
78	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
79	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
80	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
81	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
82	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
83	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
84	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
85	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
86	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
87	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
88	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
89	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
90	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
91	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
92	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
93	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
94	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
95	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
96	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
97	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
98	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
99	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
100	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
101	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
102	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
103	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
104	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
105	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
106	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
107	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
108	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
109	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
110	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
111	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
112	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
113	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
114	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
115	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
116	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
117	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
118	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
119	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
120	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
121	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
122	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
123	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
124	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
125	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
126	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
127	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
128	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
129	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
130	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
131	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
132	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
133	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
134	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
135	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
136	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
137	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
138	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
139	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
140	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
141	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
142	佐藤	二郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
143	佐藤	三郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
144	佐藤	四郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
145	佐藤	五郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
146	佐藤	六郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
147	佐藤	七郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
148	佐藤	八郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
149	佐藤	九郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
150	佐藤	十郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
151	佐藤	一郎	1005	男	1965	佐	会社員	1,400	佐藤太郎
152	佐藤	二郎	1005</						

[illegible]

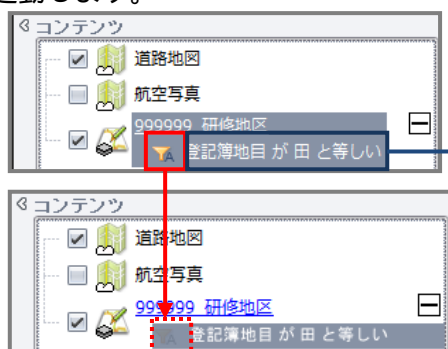
コンテンツウィンドウでレイヤの横の **+** をクリックすると、設定内容が表示されます。



コンテンツウィンドウでレイヤの下に作成された  が値フィルタの表示です。

 をクリックすると機能の有効/無効が切り替わります。

また、設定の名称部分をダブルクリックすると詳細設定画面が起動します。

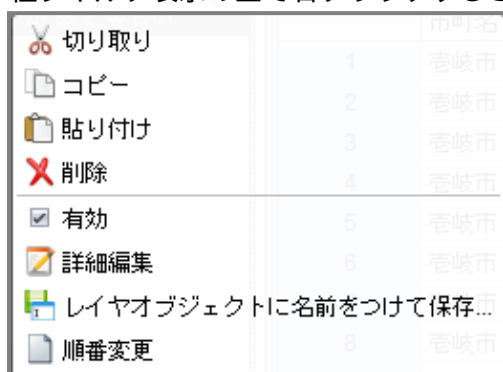


ダブルクリック





値フィルタ表示の上で右クリックすると各種メニューが起動します。



[有効]：☑の有無で機能の適用を切り替えます。

[詳細編集]：機能の編集を行います。

[削除]：機能を完全削除します。

テーブル表示を行い、属性からフィルタをかけることも可能です。

属性を選択し、右クリックすると下図のようなフィルタの選択画面が表示されます。





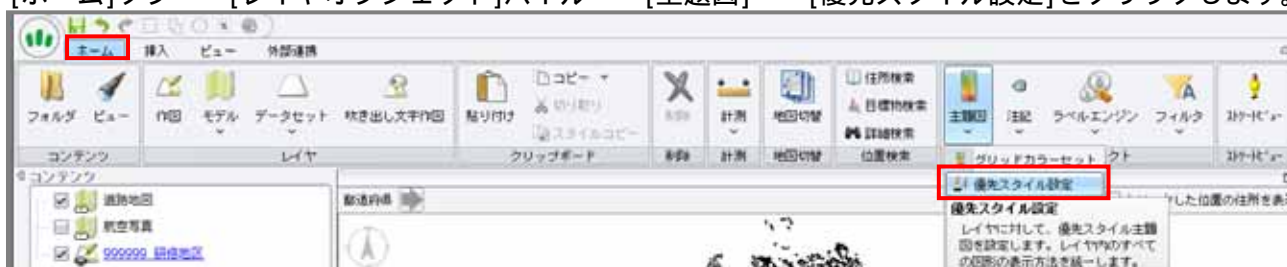
8. 主題図（色分）機能

図形が持つ属性値で色分等の設定を行うことが出来ます。

8.1. 優先スタイルの設定

レイヤのデフォルト設定を行います。レイヤ内の**図形全て**が優先スタイルに設定されます。

[ホーム]タブ [レイヤオブジェクト]パネル [主題図] [優先スタイル設定]をクリックします。




レイヤにて優先スタイルを設定するレイヤを選択します。


詳細な設定は【スタイル設定の基本内容 P24～25】を参考に行います。

全ての設定が終わりましたら[了解]をクリックします。

地図画面上に設定内容が反映されます。

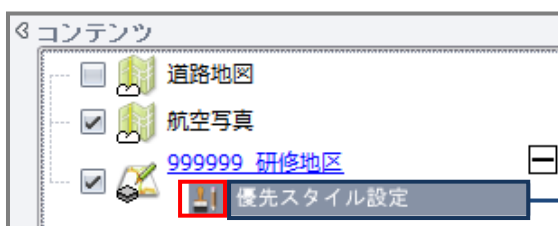


コンテンツウィンドウでレイヤの下に作成された  が優先スタイル設定の表示です。

 をクリックすると機能の有効/無効が切り替わります。また、設定

の名称部分をダブルクリックすると詳細設定画面が起動します。

右クリックメニューは【7.フィルタ機能 P16】と同様です。



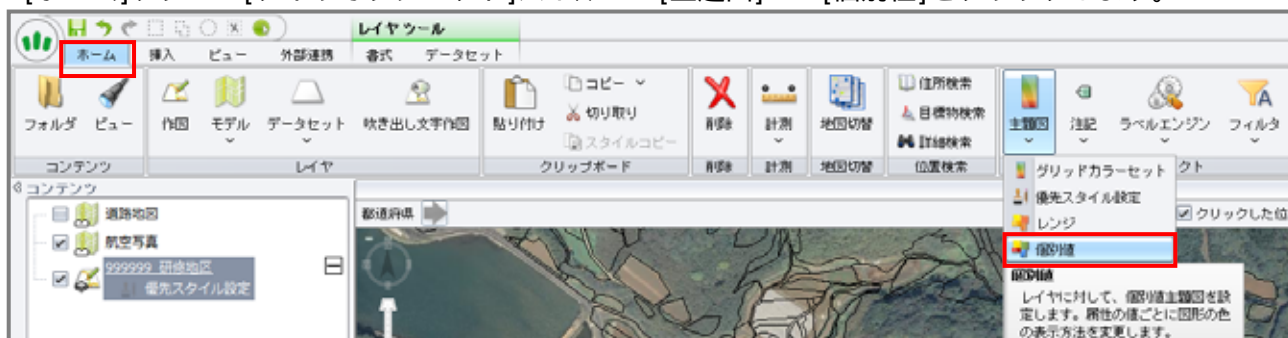
ダブルクリック



8.2. 個別値の設定

図形の持つ属性値による色分設定を行います。

[ホーム]タブ [レイヤオブジェクト]パネル [主題図] [個別値]をクリックします。

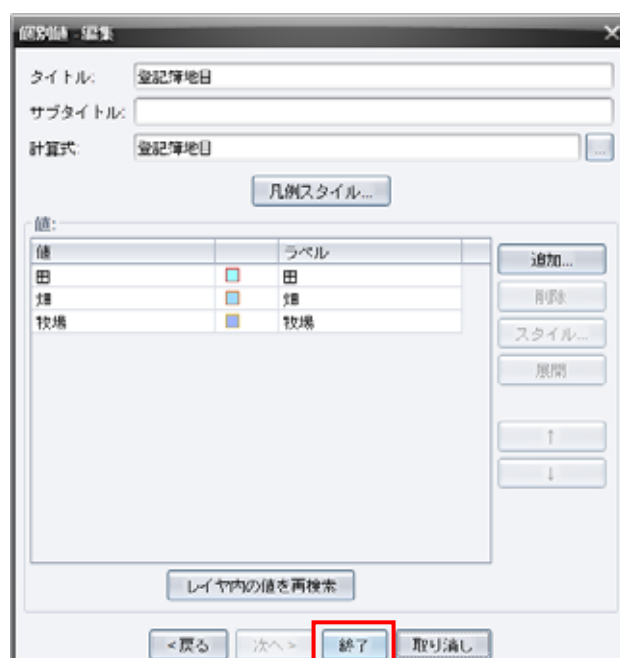
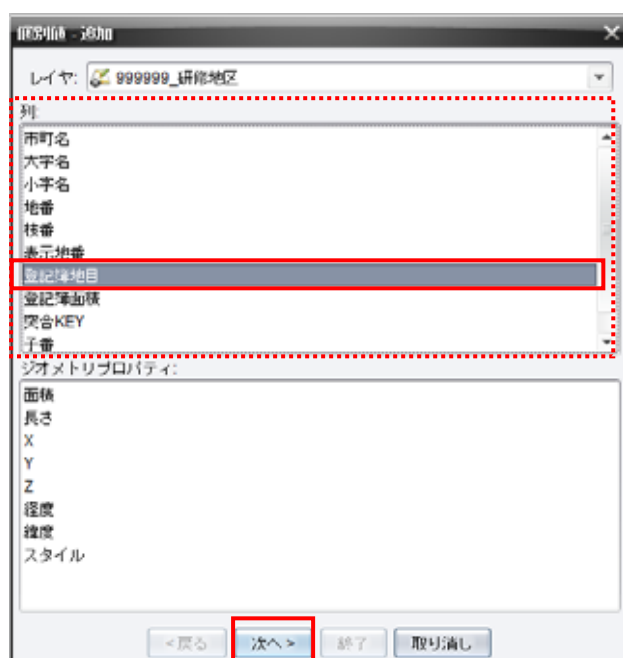
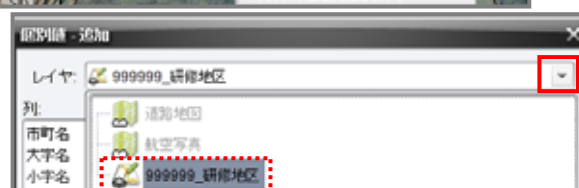


個別値主題図画面が起動します。

レイヤにて個別値を設定するレイヤを選択します。

次に列で色分を行いたい属性値を選択します。

[次へ]をクリックします。



値の欄にレイヤ内に含まれる属性値が自動彩色されて表示されます。

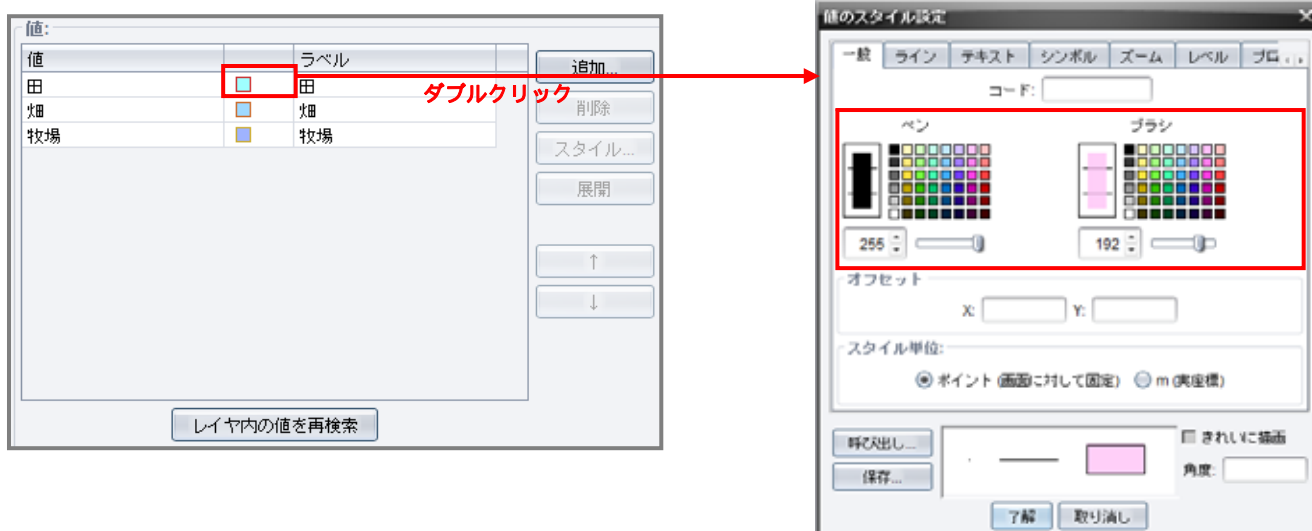
[終了]をクリックすると地図画面に個別値属性の色分が反映されます。






着色の設定を変更したい場合は、スタイル列の着色部分をダブルクリックします。

値のスタイル設定画面が起動するので、[ペン(ライン、枠線)][ブラシ(塗潰し色)]を変更します。

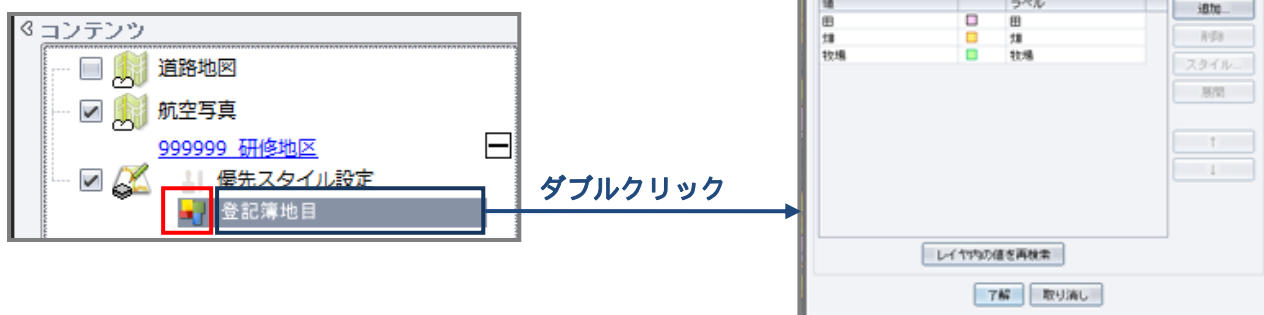


コンテンツウィンドウでレイヤの下に作成された  が個別値設定の表示です。

 をクリックすると機能の有効/無効が切り替わります。

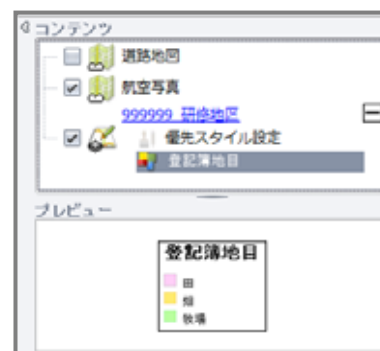
また、設定の名称部分をダブルクリックすると詳細設定画面が起動します。

右クリックメニューは【7.フィルタ機能 P16】と同様です。

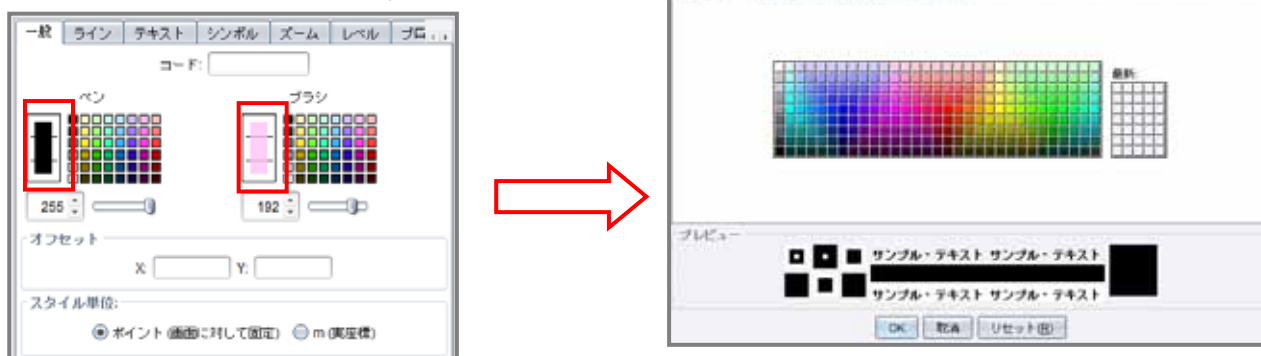


名称部分をクリックするとプレビューウィンドウに個別値設定の凡例が表示されます。

凡例の上部にタイトル、サブタイトルが表示されます。



また、色は表示されている色の他に赤枠の部分をクリックすることで下図のような色を選択できます。





8.3. レンジの設定

図形の持つ属性値の中で数値属性での色分を行います。

[ホーム]タブ [レイヤオブジェクト]パネル [主題図] [レンジ]をクリックします。

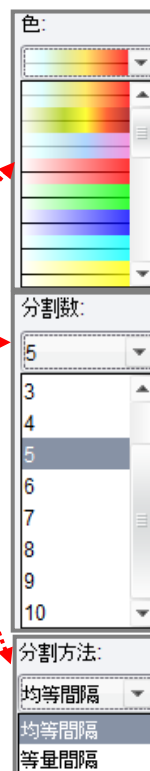
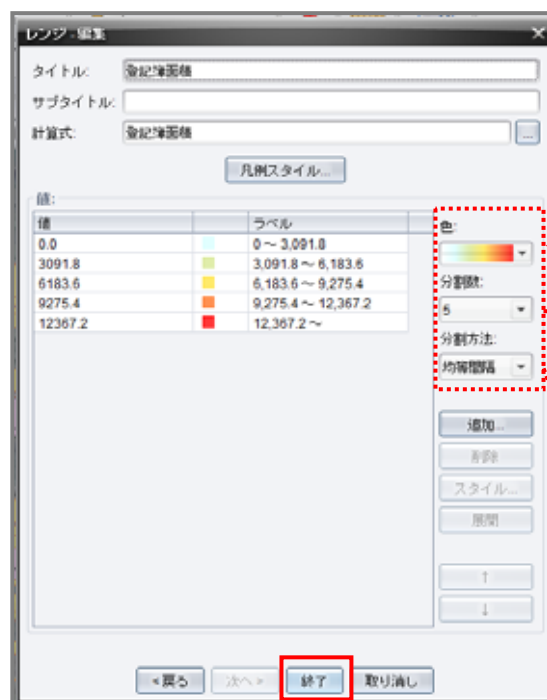
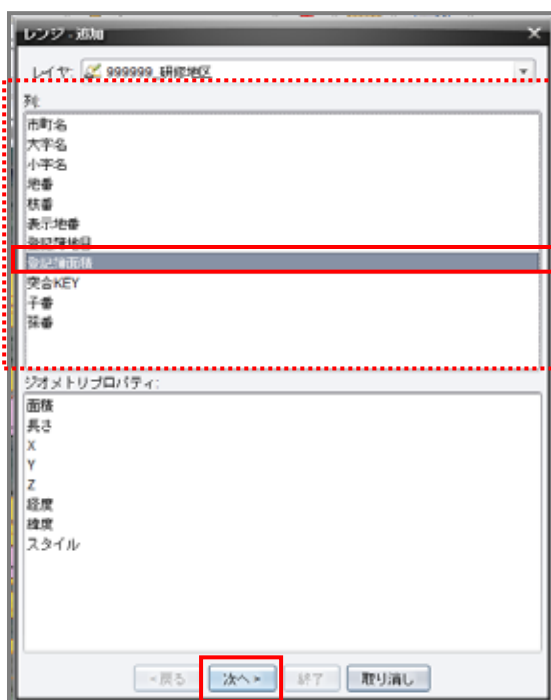


レンジ設定画面が起動します。

レイヤでレンジを設定するレイヤを選択します。

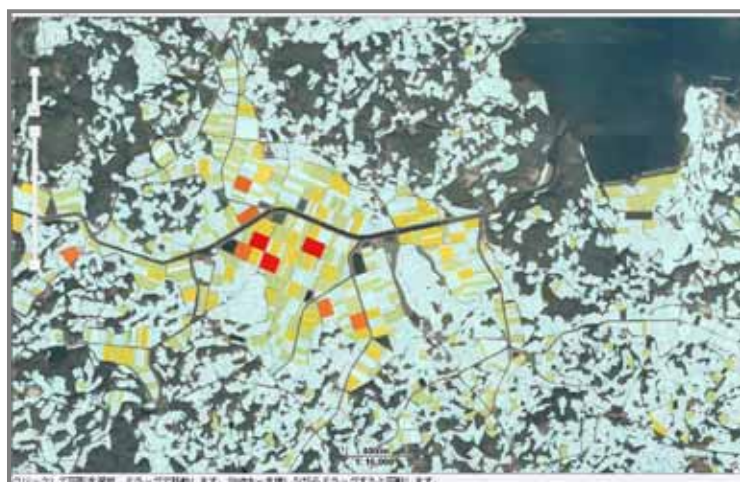
次に列で色分を行いたい属性値を選択します。

[次へ]をクリックします。



色、分割数と分割方法を選択すると、値が自動彩色されて表示されます。

[終了]をクリックすると地図画面にレンジの色分が反映されます。

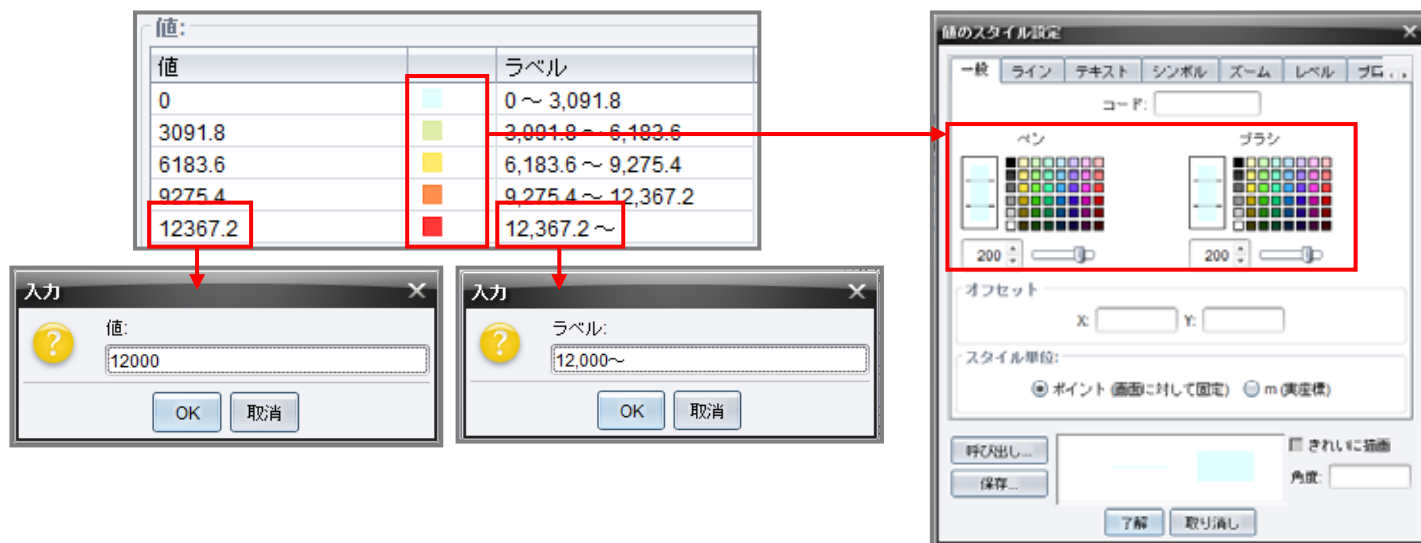





着色の設定を変更したい場合は、スタイル列の着色部分をダブルクリックします。

値のスタイル設定画面が起動するので、[ペン(ライン、枠線)][ブラシ(塗潰し色)]を変更します。

値を任意で設定したい場合は、値のセルをダブルクリックし、値を手入力します。ラベルも同様です。

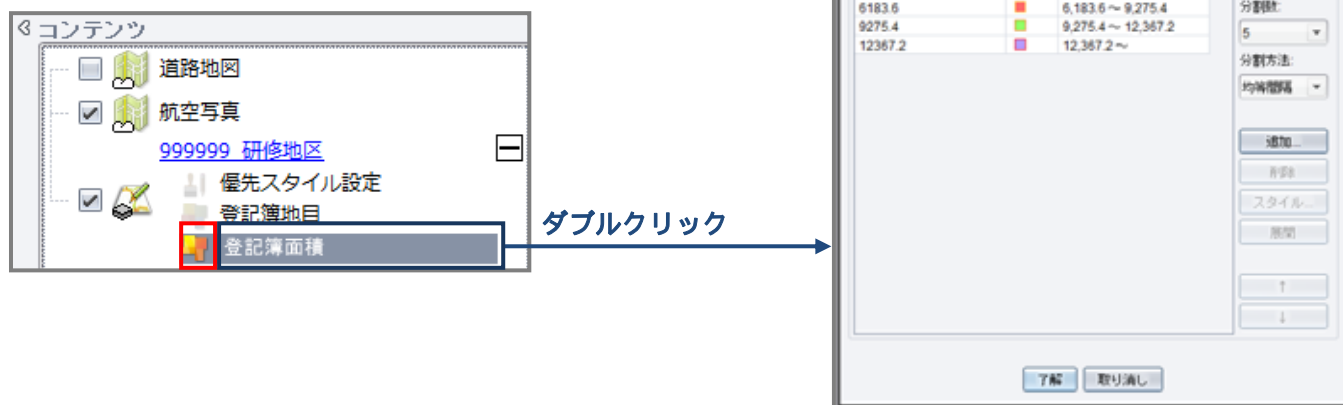


コンテンツウィンドウでレイヤの下に作成された  がレンジ設定の表示です。

 をクリックすると機能の有効/無効が切り替わります。

また、設定の名称部分をダブルクリックすると詳細設定画面が起動します。

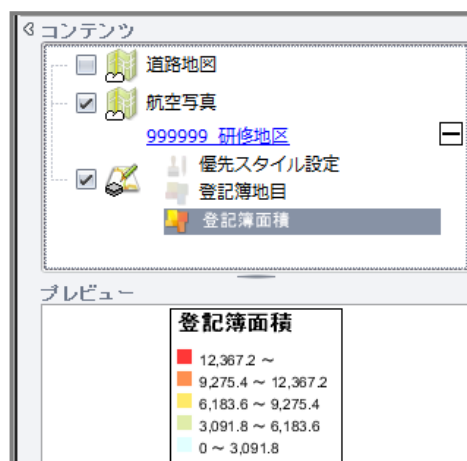
右クリックメニューは【7.フィルタ機能 P16】と同様です。



アイコンをクリックするとプレビューウィンドウに

レンジ設定の凡例が表示されます。

凡例の上部にタイトル、サブタイトルが表示されます。





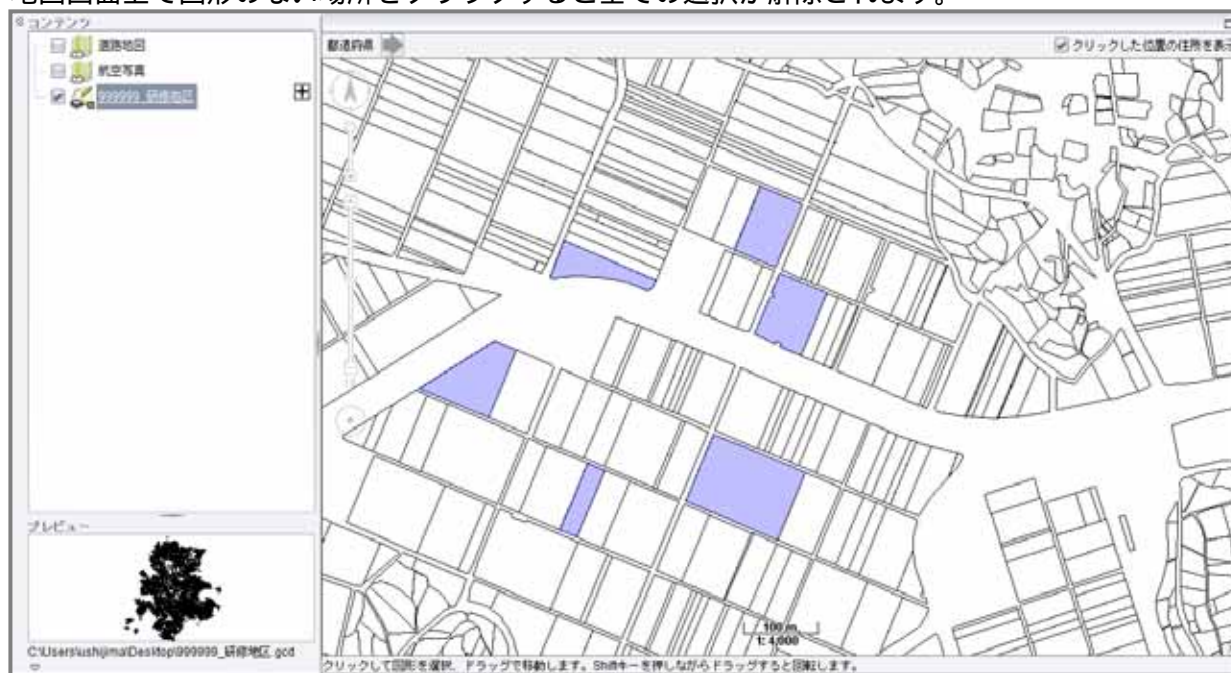
8.4. 個別選択図形の着色設定

ユーザ側で選択した図形に対して色塗り設定を行います。

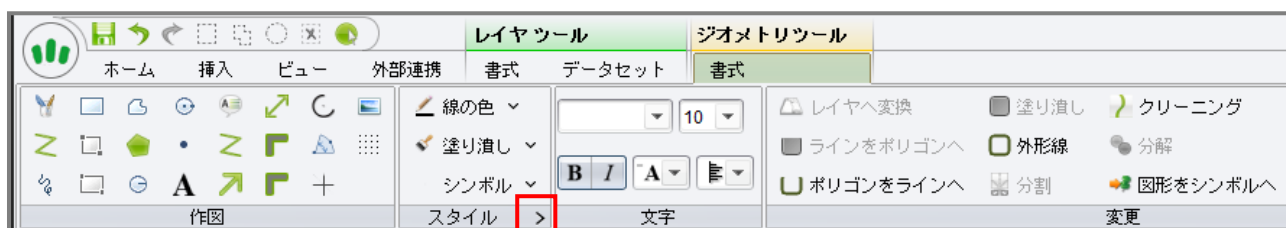
個別に着色設定を行いたいレイヤの図形をクリックして選択します。

複数選択したい場合はキーボードの[Ctrl]キーまたは[Shift]キーを押しながら図形をクリックします。

選択を間違えた場合は、図形をもう一度クリックすると選択がクリアされます。全クリアしたい場合は地図画面上で図形のない場所をクリックすると全ての選択が解除されます。



図形を選択し終わったら、ジオメトリツール [書式]タブ [スタイル]パネル [>]をクリックします。



スタイル設定画面が起動します。

【スタイル設定の基本内容 P24～P25】を参考に設定を行います。

設定し終えて[了解]をクリックすると、選択図形にスタイル設定が反映されます。



この着色は図形の初期値設定となります。コンテンツの \oplus に表示されません。




他着色設定（個別値等）を行うと表示されません。



着色したい図形を選択し、新しいレイヤを作成して色塗りを行う方法もあります。

図形を選択方法として、クイックツールバーにある [ボックス選択]または[ポリゴン選択]または[円選択]をクリックして行う方法もあります。



-  ボックス選択
-  ポリゴン選択
-  円選択

地図画面上をクリックして選択範囲を決定します。

選択範囲内の図形がハイライト（強調）され、選択状態になります。



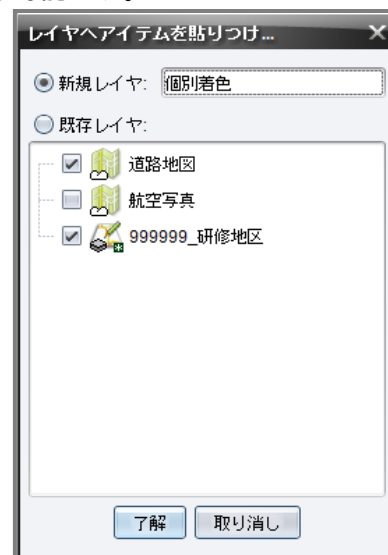
[ホーム]タブ [クリップボード]パネル [コピー]をクリックします。

[ホーム]タブ [クリップボード]パネル [貼り付け]をクリックします。

選択図形を貼り付けるレイヤの確認画面が起動します。新規レイヤまたは既存レイヤを選択します。

新規レイヤを選択する場合はレイヤ名を入力します。

既存レイヤを選択する場合、図形の貼り付けは編集可能なデータにのみ可能です。



対象のレイヤに図形が貼り付いたら個別に着色の設定を行います。

P22 の設定または[ホーム]タブ [レイヤオブジェクト]パネル [主題図] [優先スタイル設定]を使用し、着色して下さい。



※ スタイル設定の基本内容

・[一般]タブ

[配色]

ペン：ラインとなる色
ブラシ：面の塗り潰し色

ブラシ色の数値を小さくすると透過されます。ただしゼロにすると外枠のラインだけの図形になります。

[ブラシ] 数値 50 の場合



[きれいに描画]

✓を入れると滑らかな図形で表示されます。



[オフセット]

・ポイントの場合(ライン・ポリゴンも同様)



[スタイル単位]

ポイント(画面に対して固定)：

地図の拡大・縮小に関わらず、シンボルを設定した大きさ・太さで表示させます。

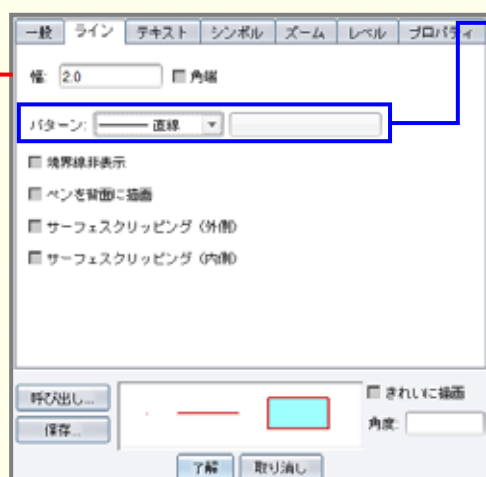
m(実座標)：

地図を拡大すれば大きく、縮小すれば小さく表示させます。

・[ライン]タブ

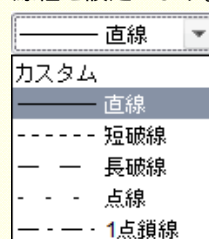
[幅]

ラインの太さを設定します。

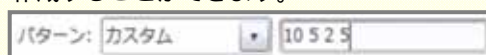


[パターン]

線種を設定します。



カスタムを選択するとオリジナルの線種を作成することができます。



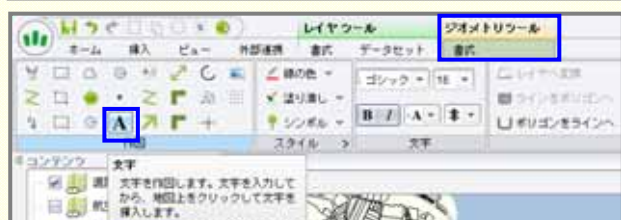
線長の割合数値を手入力します。
数値間は半角空白を入力します。

・[テキスト]タブ

ここでのテキストはラベル表示とは関係ありません。
文字挿入のときの設定となります。

[挿入]タブ [図形]パネル [文字]

[描画]ツール [書式]タブ [図形挿入]パネル [文字]



[フォント][高さ]

フォントの字体と大きさを設定します。



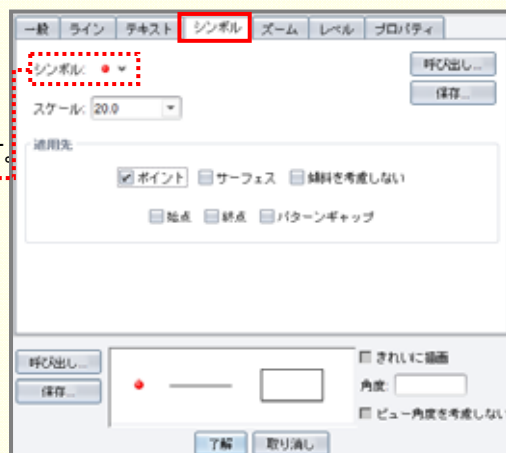
・[シンボル]タブ

[シンボル]

シンボル形式を設定します。

[スケール]

シンボルの大きさを設定します。



☒ポイント：ポイント図形にシンボルを適用します。



☒始点・☒終点：ライン図形の始点・終점에シンボルを適用します。



☒サーフェス：ポリゴン図形の塗りつぶし部分にシンボルを適用します。



・[レベル]タブ

[レベル]設定とは複数の線種を重ね合わせてラインまたはポリゴン枠等のカスタムを行うことができる機能です。

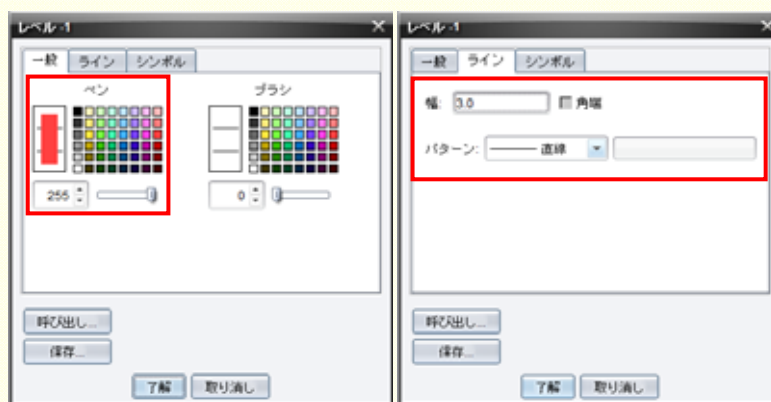


[追加]ボタンをクリックします。線種追加画面が起動します。

[一般]タブの[ペン]で色彩を選択します。

[ライン]タブの[幅][パターン]で線の太さと種類を設定します。

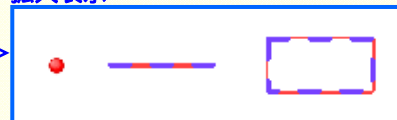
追加線種の設定が終わったら[了解]をクリックします。



線種追加画面の上部に表記のある[レベル-1]は地図画面上で[レベル 0]の下に表示される線種ということを意味しています。地図画面での表示はレベル数値が大きいほうが上に表示されます。



拡大表示



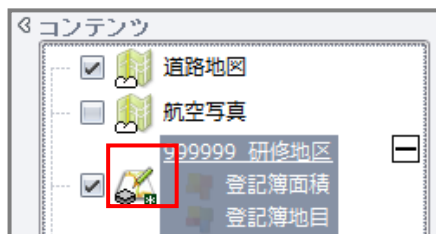
9. 透過機能

ここでの透過は対象レイヤ全体が透過されます。

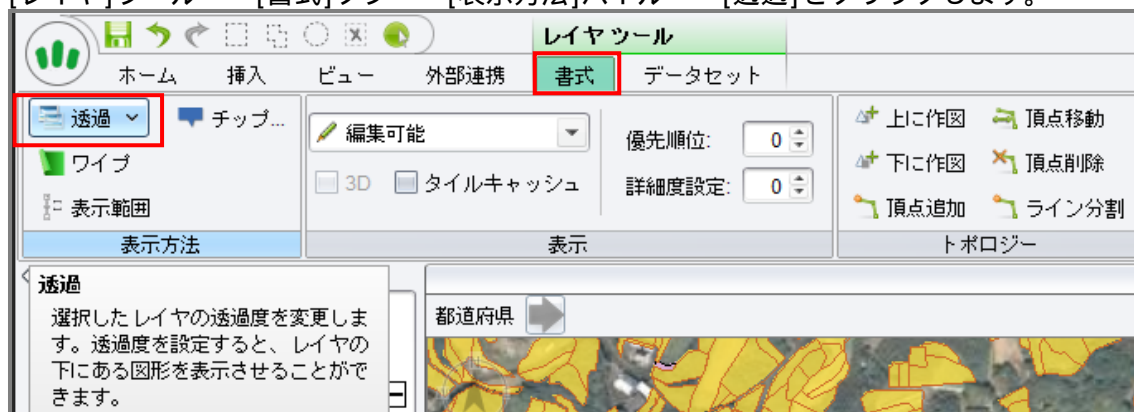
塗潰し色だけ透過したい場合は【優先スタイル設定 P24】を参考にブラシ色にだけ透過設定を行って下さい。

コンテンツウィンドウで透過したいレイヤを選択します。

レイヤのアイコンをクリックすると選択状態になります。

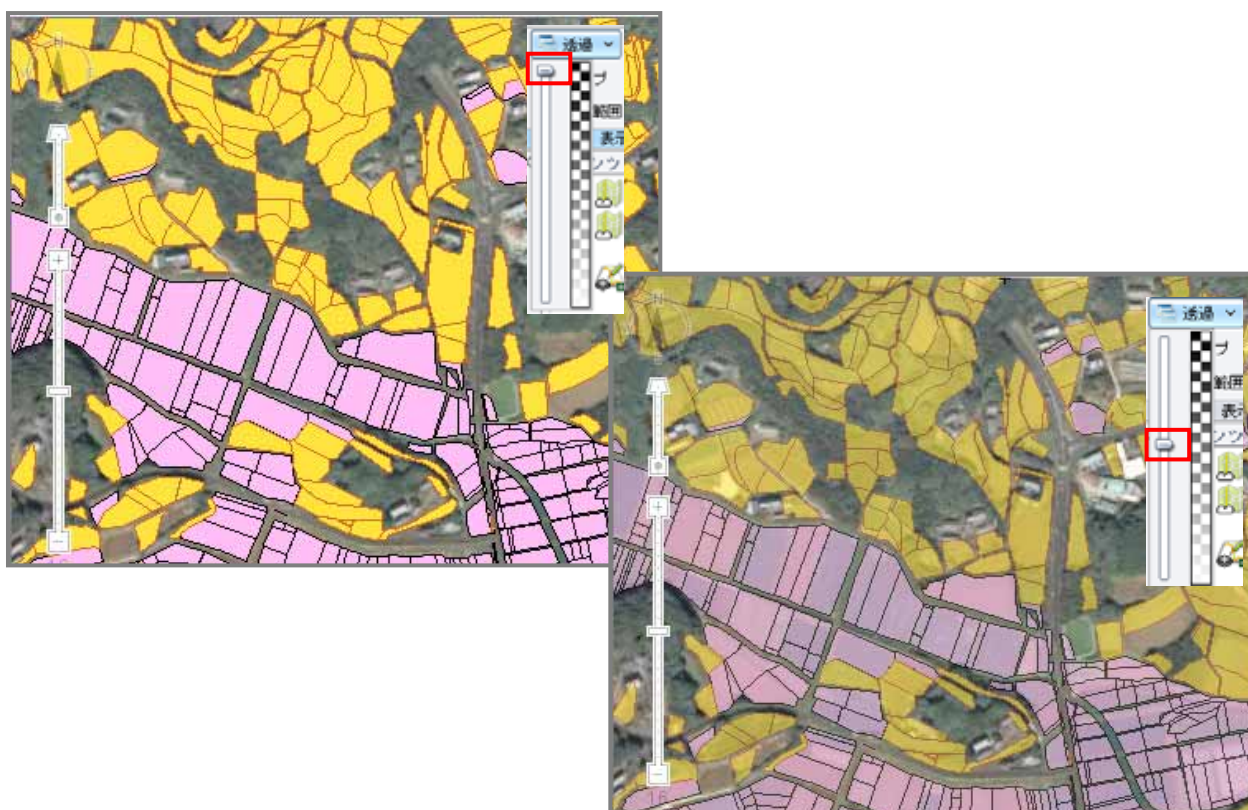


[レイヤ]ツール [書式]タブ [表示方法]パネル [透過]をクリックします。



透過バーのカーソルをドラッグするとレイヤの透過率が変わります。

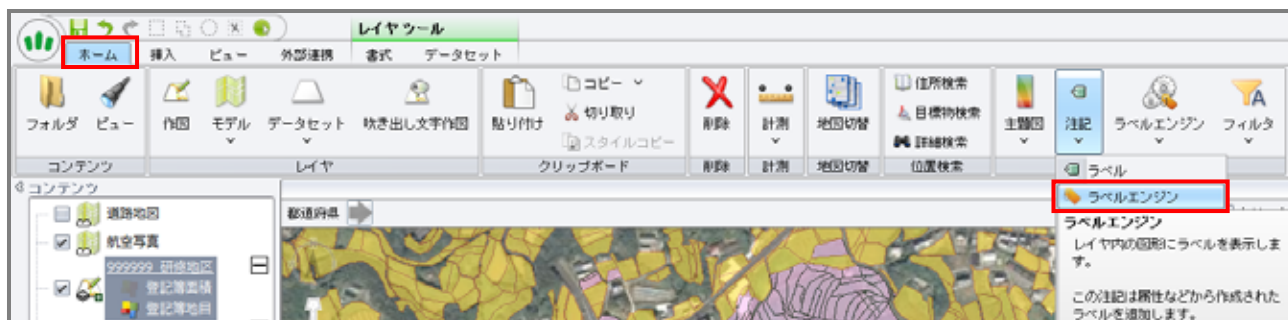
カーソルが下に行くほど図形が透過されます。



10. ラベル設定機能

図形の持つ属性値によるラベル設定を行います。

[ホーム]タブ [レイヤオブジェクト]パネル [注記] [ラベルエンジン]をクリックします。

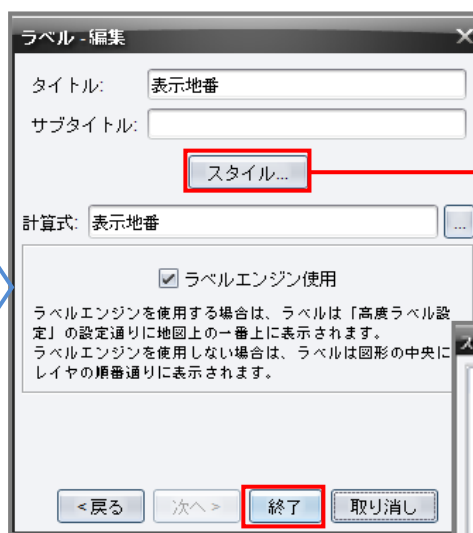
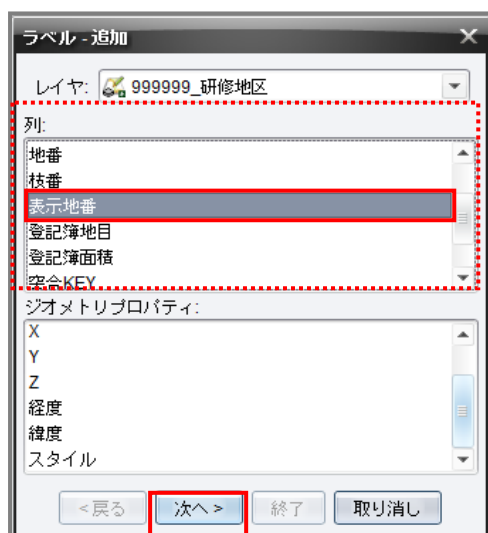


ラベル設定画面が起動します。

レイヤにてラベルを設定するレイヤを選択します。

次に列でラベル表示したい属性値を選択します。

[次へ]をクリックします。



スタイルをクリックすると、ラベルのスタイルを設定できます。



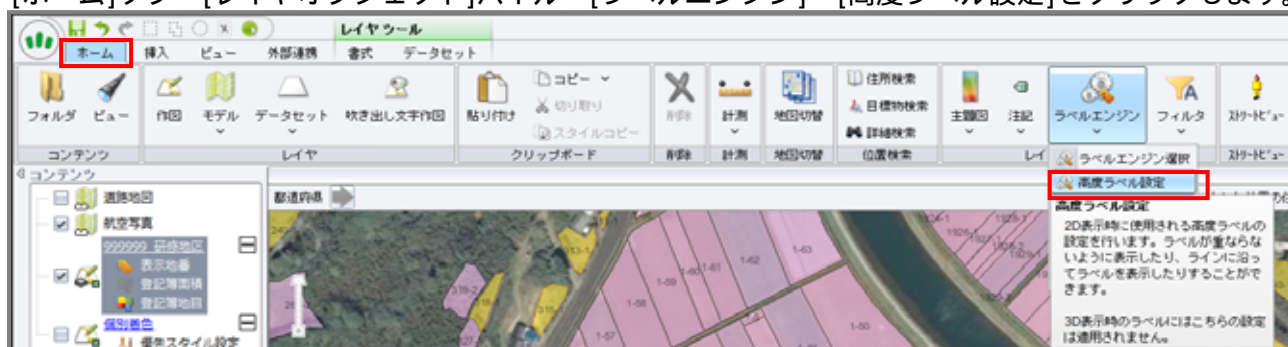
[終了]をクリックすると
地図画面にラベルが反映
されます。

この設定では、配置位置
は水平のみになります。



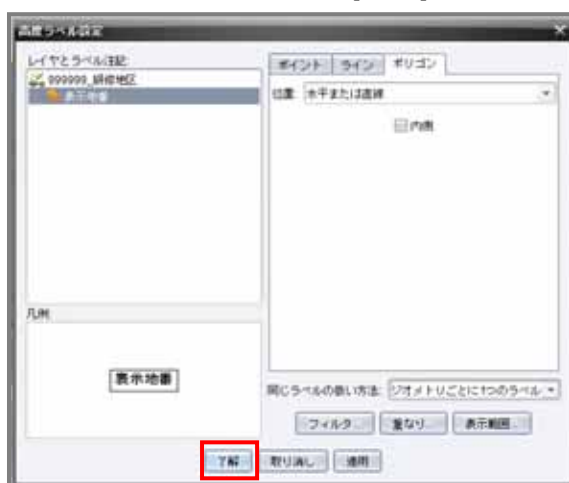
次に設定したラベルの詳細設定を行います。

[ホーム]タブ [レイヤオブジェクト]パネル [ラベルエンジン] [高度ラベル設定]をクリックします。




ラベルの詳細設定を行ったあと、[適用]をクリックすると地図画面にラベル設定が反映されます。

確認後、設定が OK ならば[了解]をクリックします。【ラベルの詳細設定 P29～P34】

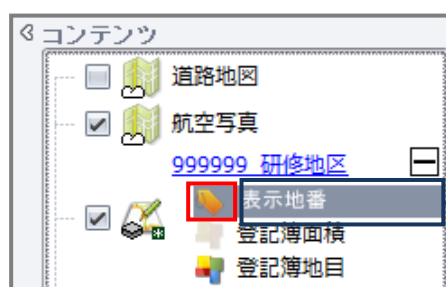


コンテンツツウィンドウでレイヤの下に作成された  がラベル設定の表示です。

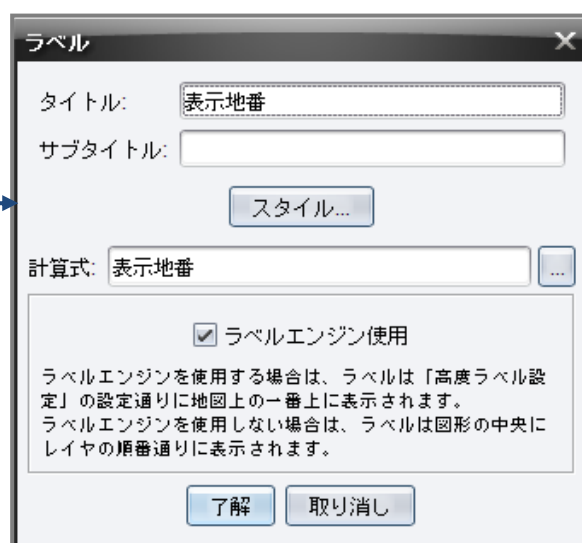
 をクリックすると機能の有効/無効が切り替わります。

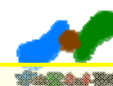
また、設定の名称部分をダブルクリックすると詳細設定画面が起動します。

右クリックメニューは【7.フィルタ機能 P16】と同様です。

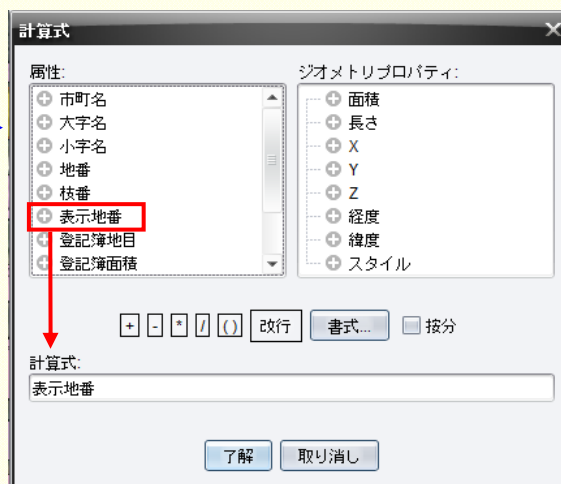
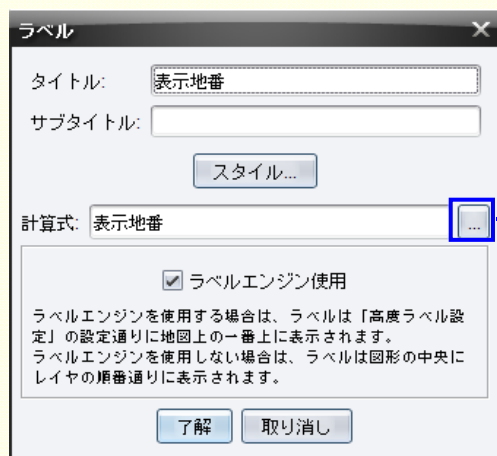


ダブルクリック





参考 MEMO

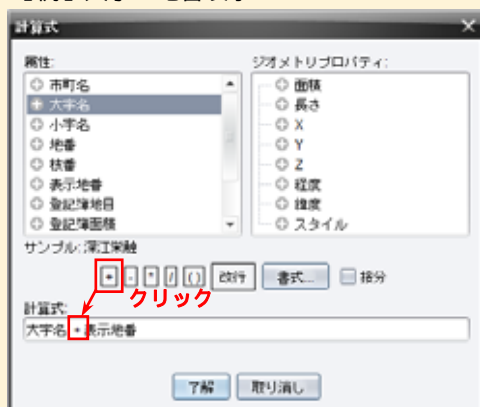


ラベル表示させたい属性項目を選択します。
名称部分をダブルクリックまたは
+ を左クリックすると選択されます。

ラベルの表示方法

複数の属性項目をつなげて表示する方法

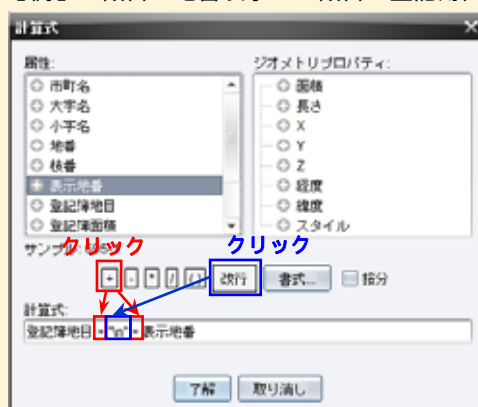
【例】大字と地番表示



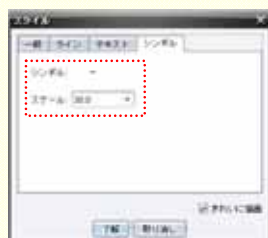
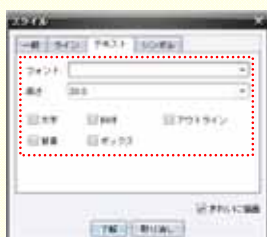
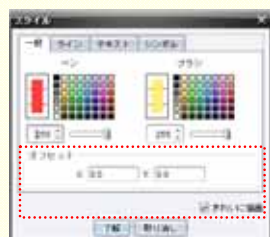
属性同士を[+]で結びます。

複数の属性項目を段書きで表示する方法

【例】1 段目：地番表示と 2 段目：登記簿面積



属性同士を[+][改行][+]で結びます。



・シンボル設定を行った場合
シンボルとは図形シンボルとは別にラベル専用のシンボルを設定します。



スタイル設定の例は下記のようにになります。(ポイントの場合)

・スタイル設定なしの場合



・[☒背景]の場合



・オフセット設定を行った場合



< X : 0、Y : 10 の場合 >

・[☒ボックス]の場合



・[☒アウトライン表示]の場合

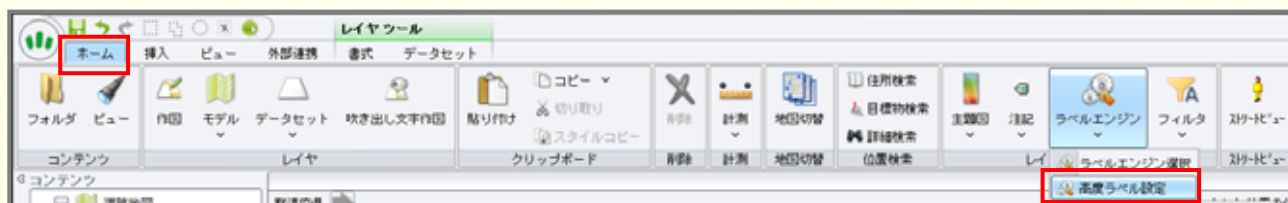


・[☒きれいに描画]の場合

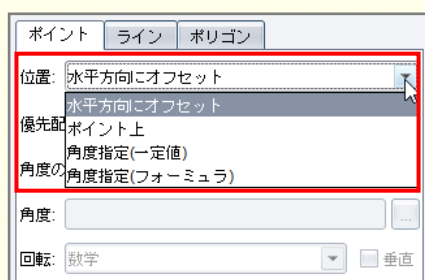




図形毎に配置位置等の詳細設定を行います。

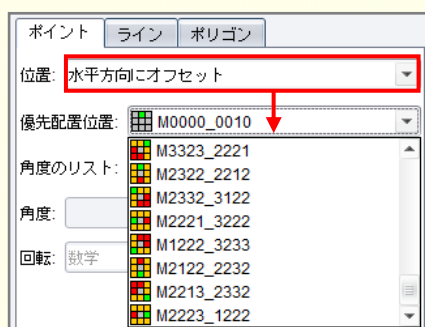


ポイントの場合



・配置位置

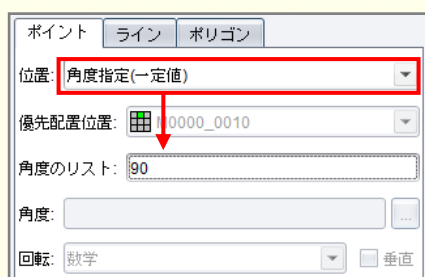
水平方向にオフセット・・・優先配置位置で設定した位置
ポイントの上・・・ポイントの真上
角度指定(一定値)・・・角度リストで設定した角度配置
角度指定(フォーミュラ)・・・属性列の角度リストで配置



配置位置で[水平方向にオフセット]を選択した場合

・優先配置位置

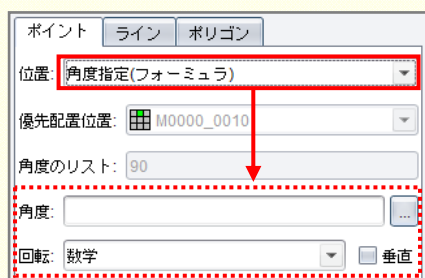
優先する配置位置を選択します。
優先順位は 1.緑 2.黄 3.赤の順番です。



配置位置で[角度指定(一定値)]を選択した場合

・角度のリスト

設定角度を手入力します。



配置位置で[角度指定(フォーミュラ)]を選択した場合

・角度

角度リストとなる属性列を [] から選択します。

・回転

地理学・・・北の方向を 0 度とし、時計回りに回転
数 学・・・3 時の方向を 0 度とし、反時計回りに回転

[☒垂直]の場合

設定した角度 + 90 度回転した位置に配置されます。



ラインの場合

ポイント ライン ポリゴン

配置位置: 水平
水平
ラインに沿 平行
曲線
垂直

☒ ライン上 上
☐ ラインの下 上

オフセット: 0

方向基準: ページ

・配置位置

- 水平・・・水平方向に配置
- 平行・・・図形内の 1 要素の傾きに沿って配置
- 曲線・・・図形に沿って配置。複数要素ある場合はラベルも途中で図形に沿って変形します。
- 垂直・・・垂直方向に配置

ポイント ライン ポリゴン

配置位置: 平行

ラインに沿った位置: 最適
最適
始点
終点

☐ ラインの始点
☒ ライン上 上
☐ ラインの下 上

オフセット: 0

方向基準: ページ

配置位置で[平行] [垂直]を選択した場合

・ラインに沿った位置

- 最適・・・ラインの中央に配置
- 始点・・・ラインの始点に配置
- 終点・・・ラインの終点に配置

ポイント ライン ポリゴン

配置位置: 平行

ラインに沿った位置: 最適

☒ ラインの上 上
☐ ライン上 上
☐ ラインの下 上

オフセット: 0.5

方向基準: ページ

配置位置で[平行] [曲線] [垂直]を選択した場合

・ラインの配置位置

ラベルの配置位置を選択します。

・オフセット

ラインの描画角度に対して上下にラベルをずらして配置します。

・方向基準

- ラインの表示方向を設定します。
- ライン・・・ラインの始点から終点方向へ配置
- ページ・・・北方向が上、南方向が下で配置

●ポリゴンの場合

ポイント ライン ポリゴン

位置: 水平
水平
直線
水平または直線

・配置位置

- 水平・・・水平方向に配置
- 直線・・・システムが位置・角度等から自動配置
- 水平または直線・・・両方から自動配置

ポイント ライン ポリゴン

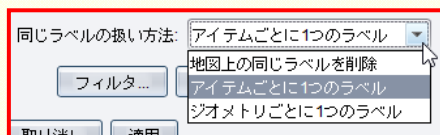
位置: 水平または直線

☒ 内側

[☒内側]の場合

- ポリゴンの内側にのみ配置
- ポリゴン内に入りきれない場合は非表示となります。

その他（共通項目）



・同じラベルの扱い方法

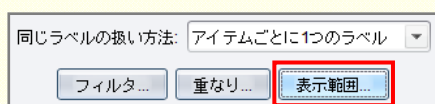
地図上の同じラベルを削除・・・いずれか 1 つが配置。その他のラベルは削除。

アイテムごとに 1 つのラベル・・・アイテム 1 つにラベル 1 つを配置。

同じラベル地物をグループ化した場合ラベルは 1 つ。

ジオメトリごとに 1 つのラベル・・・ジオメトリ 1 つにラベル 1 つを配置。

同じラベル地物をグループ化した場合でもラベルは複数。



・表示範囲

ラベルを表示する縮尺範囲を指定します。

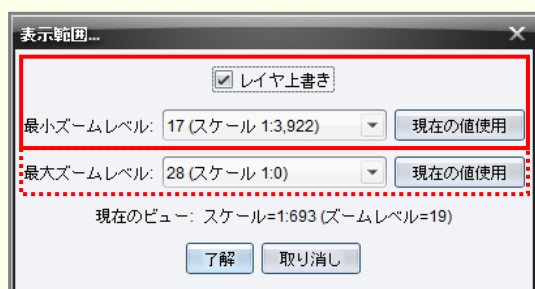
最小ズームレベル

・・・設定した縮尺より拡大したときにラベル表示

最大ズームレベル

・・・設定した縮尺より縮小したときにラベル表示

必ず「レイヤ上書き」にチェックをつけます。

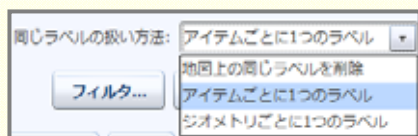


基本的には最小ズームレベルの設定を行います。

全縮尺でラベルを表示させた場合、地図表示及び印刷等で画面が固まる可能性があるので、できるだけ表示範囲の設定は行うよう注意してください。



参考 MEMO



・同じラベルの扱い方法

同じラベルの扱い方法に「アイテムごとに 1 つのラベル」と「ジオメトリごとに 1 つのラベル」があります。

この 2 つの違いについて説明します。

4 つの図形にそれぞれ A、B、C、D とラベルを設定します。



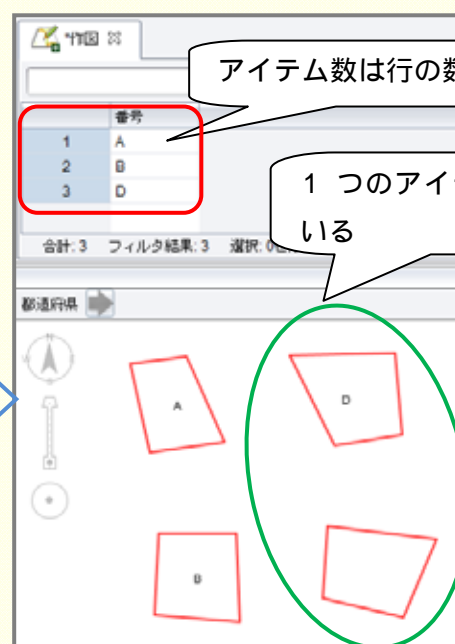
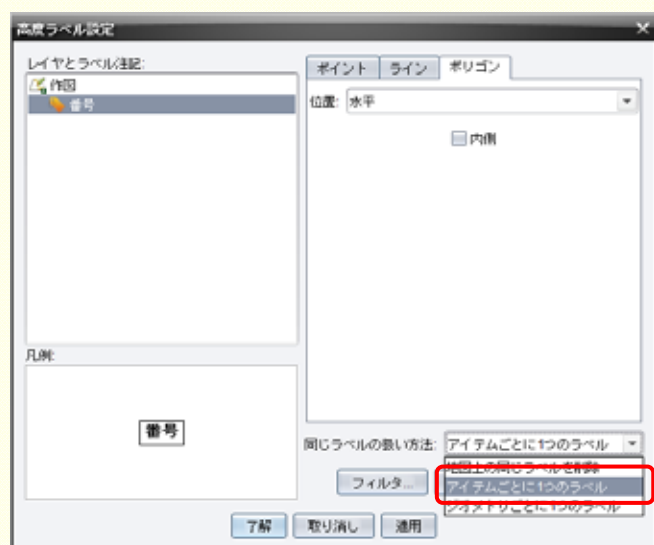
C と D の図形をグループ化し 1 つの図形とします。



テーブルに表示される数は 3 つになるが、マップ上には 4 つの図形がある。

C の図形が D の図形に統合されて 1 つになっている。

ラベル設定の画面で、[同じラベルの扱い方法] の設定を「アイテムごとに 1 つのラベル」にした場合。



アイテム数は行の数

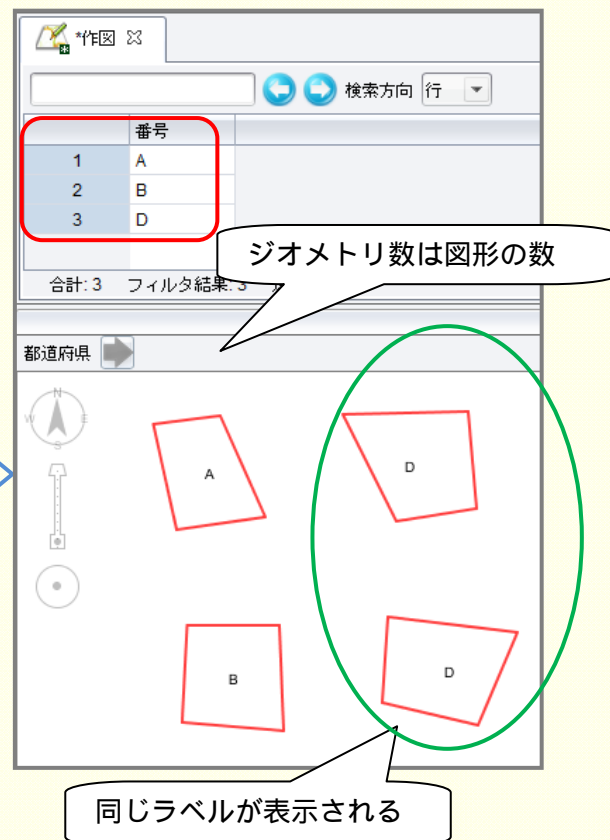
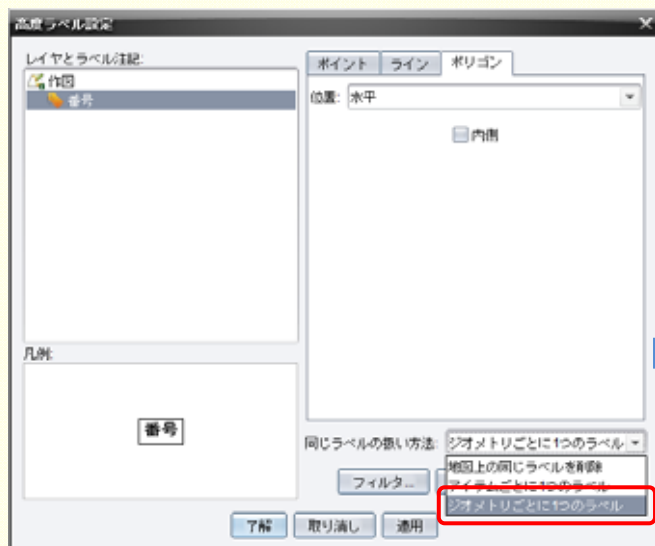
1 つのアイテムになっている



参考 MEMO



ラベル設定の画面で、[同じラベルの扱い方法]の設定を「ジオメトリごとに 1 つのラベル」にした場合。



「ジオメトリごとに 1 つのラベル」では、マップにある 4 つの図形全てにラベルが表示されていますが、「アイテムごとに 1 つのラベル」では、統合された C の図形にはラベルが表示されません。これは、C と D の図形が統合されて 1 つのアイテムになっていると認識しているためです。アイテムはテーブル表示時の行の数、ジオメトリはマップの図形の数になります。

11. 計測および集計

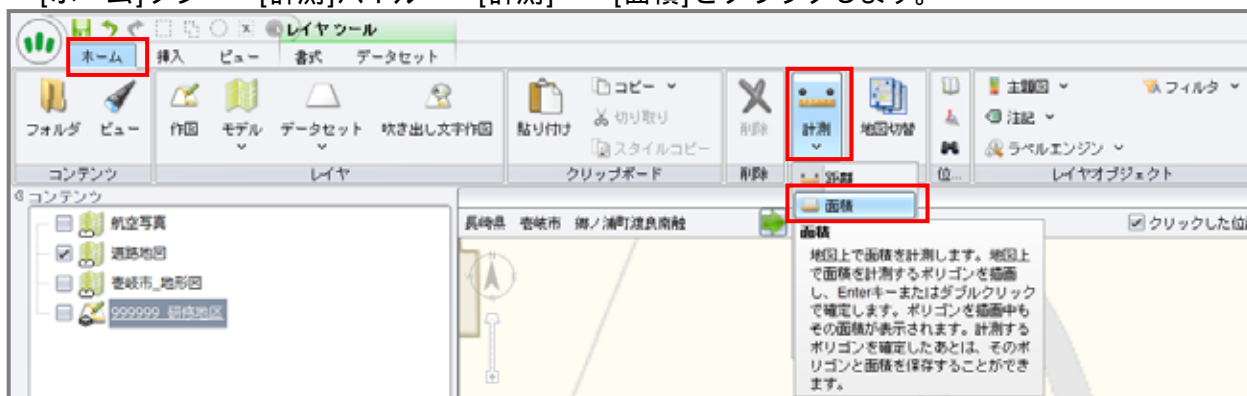
地図画面上で位置や範囲を指定し、その位置の座標や距離、面積の計測が出来ます。

地図画面上で選択した図形の距離、面積を集計することが出来ます。

11-1. 計測範囲を指定する場合

【面積計測の場合】 その他の計測も同様です。

[ホーム]タブ [計測]パネル [計測] [面積]をクリックします。



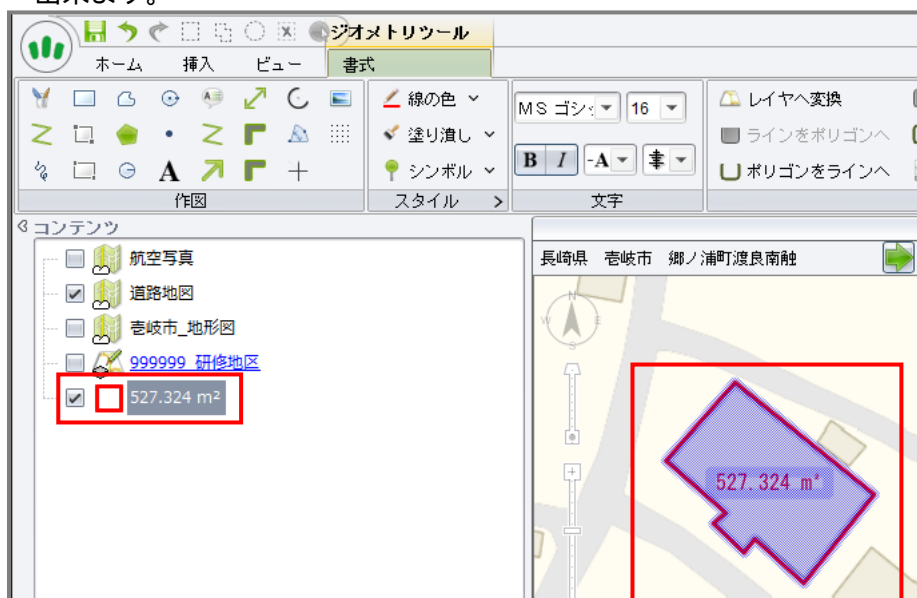
計測範囲を示す多角形の頂点を順にクリックします。

最後の点でクリックし[Enter]キーを押すか、最後の点で

ダブルクリックすると終了します。下図のように結果が表示されます。



計測結果画面で保存に✓を入れOKを押すと、計測結果を下図のように図形として保存することが出来ます。



11-2. 既存の面積等を計測する場合

既存図形の計測が出来ます。

地図画面上で図形を選択します。

[ホーム]タブ [計測]パネル [計測] [選択図形面積]をクリックします。

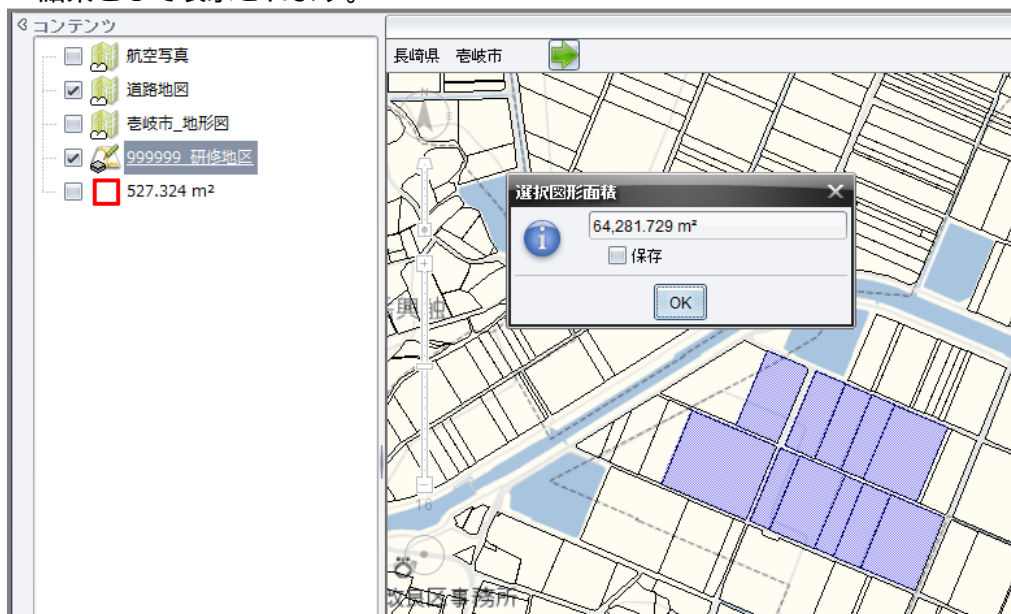


選択図形の面積計測結果が表示されます。

計測結果画面で保存に✓を入れOKを押すと、計測結果を図形として保存することが出来ます。



[Shift] キーを押しながら図形をクリックし複数図形を選択すると選択した図形の面積合計が結果として表示されます。



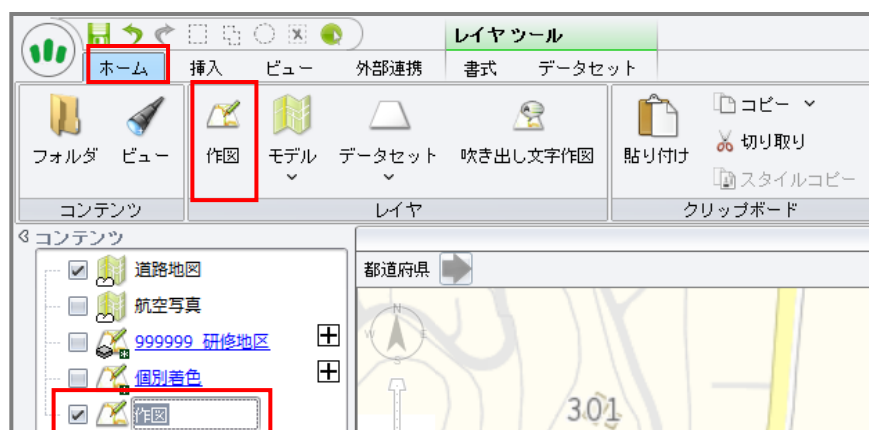


12. 作図

新規レイヤを作成し作図することができます。

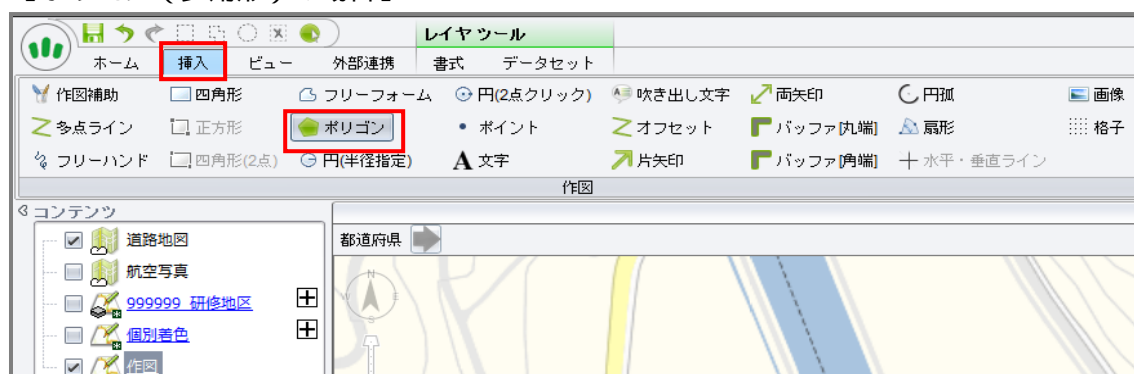
[ホーム]タブ [レイヤ]パネル
[作図]をクリックします。

コンテンツウィンドウにレイヤが
表示されます。 名称変更可能

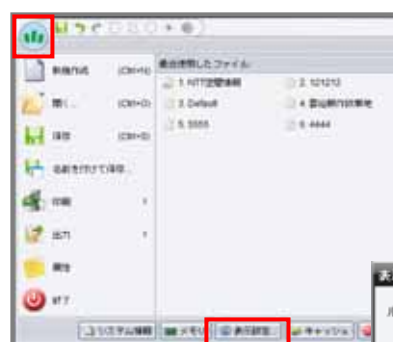
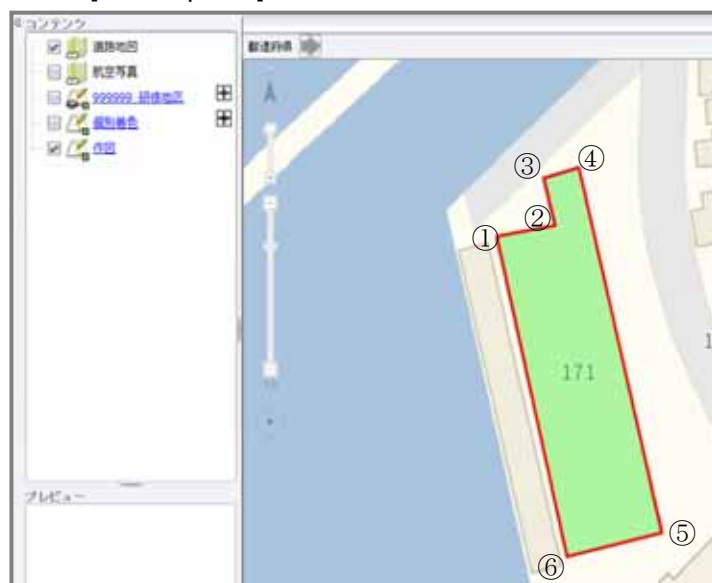


追加された新規レイヤを選択し、[挿入]タブ [作図]パネルより描画したいアイコンをクリック
します。マウスポインタの形状が [+] に変わります。

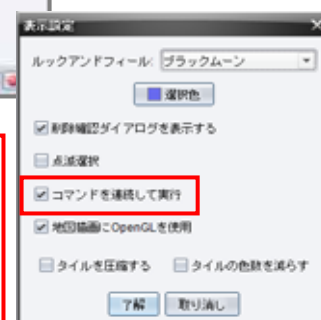
【ポリゴン（多角形）の場合】



ポリゴンの頂点を地図画面上で順番にクリックします。最後の点でダブルクリックすると確定します。
[Backspace]キーを押すと、直前に入力した頂点を削除することが出来ます。



連続して描画したい時は、
[ホーム]ボタン [表示設
定]をクリックします。
表示設定画面が起動しま
すので、【コマンドを連続
して実行】にチェックを入
れて下さい。





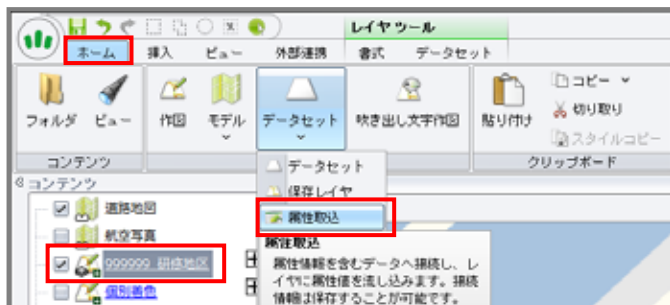
13. 属性情報のインポート・エクスポート

13-1. インポート

既に作成済みの Excel データ（CSV）より属性としてアイテムに追加する（インポート）することが出来ます。

属性を追加したいレイヤを選択します。（今回は、999999_研修地区）

[ホーム]タブ [レイヤ]パネル [データセット] [属性取込]をクリックします。

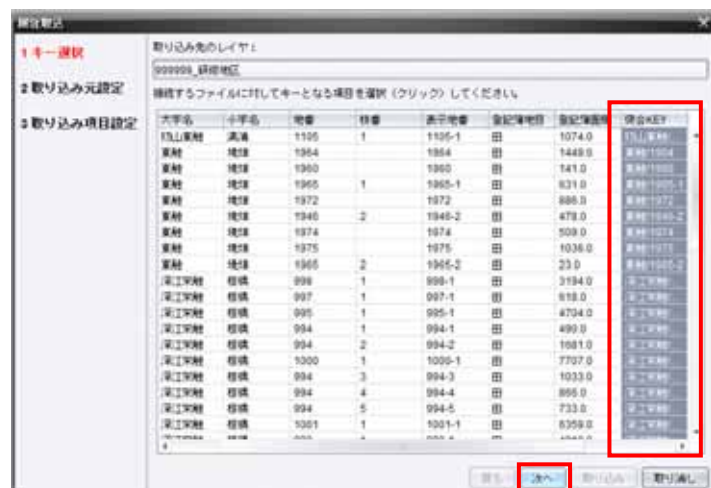


属性取込画面が表示されます。

取込先のレイヤを選択します。

接続先のレイヤに対してキーとなる項目（列）を選択し、[次へ]をクリックします。

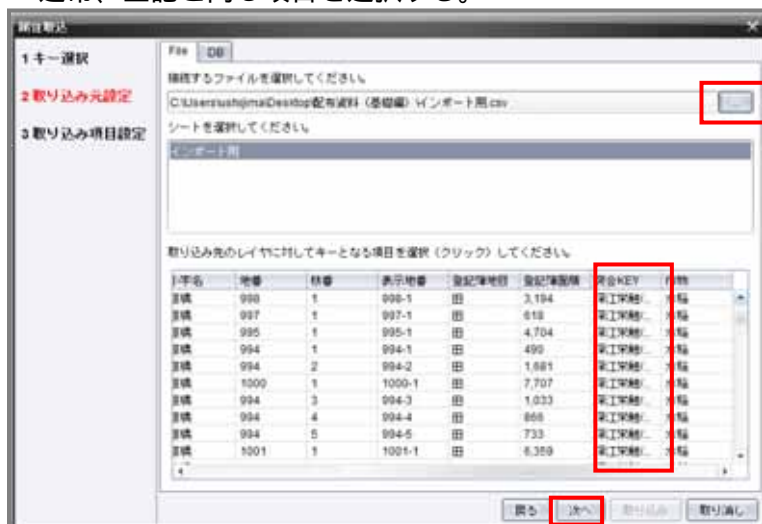
今回の場合、突合 KEY



取込む Excel（CSV）ファイルを選択します。

取込先のレイヤに対してキーとなる項目（列）を選択し、[次へ]をクリックします。

通常、上記と同じ項目を選択する。





取込む項目（列）をクリックします。今回の場合、【作物】

取込む項目が複数ある場合は、取り込みたい項目（列）をすべて選択します。

選択後、[取り込み]をクリックします。

確認メッセージが表示されますので[はい]をクリックします。

取込みが正常に完了すると完了メッセージが表示されます。

取込み設定を保存する場合は、[はい]をクリックして下さい。

続けて同じ設定内容で取り込みを行う場合以外は[いいえ]をクリックして下さい。

コンテンツウィンドウにてテーブル表示させたいレイヤをクリックするとテーブルが表示されますので取込ができているか確認します。

テーブルには取込み結果（列）が表示されます。

	市町名	大字名	小字名	地番	枝番	表示地番	登記簿地目	登記簿面積	突合KEY	子番	孫番	作物	取込み結果
1	巻坂市	深江栄融	榎橋	998	1	998-1	田	3,194	深江栄融...			水稻	成功作物
2	巻坂市	深江栄融	榎橋	997	1	997-1	田	618	深江栄融...			水稻	成功作物
3	巻坂市	深江栄融	榎橋	995	1	995-1	田	4,704	深江栄融...			水稻	成功作物
4	巻坂市	深江栄融	榎橋	994	1	994-1	田	490	深江栄融...			水稻	成功作物
5	巻坂市	深江栄融	榎橋	994	2	994-2	田	1,681	深江栄融...			水稻	成功作物
6	巻坂市	深江栄融	榎橋	1000	1	1000-1	田	7,707	深江栄融...			水稻	成功作物
7	巻坂市	深江栄融	榎橋	994	3	994-3	田	1,033	深江栄融...			水稻	成功作物
8	巻坂市	深江栄融	榎橋	994	4	994-4	田	866	深江栄融...			水稻	成功作物
9	巻坂市	深江栄融	榎橋	994	5	994-5	田	733	深江栄融...			水稻	成功作物
10	巻坂市	深江栄融	榎橋	1001	1	1001-1	田	6,359	深江栄融...			水稻	成功作物
11	巻坂市	深江栄融	榎橋	990	1	990-1	田	4,910	深江栄融...			水稻	成功作物
12	巻坂市	深江栄融	田中	958	1	958-1	田	6,503	深江栄融...			水稻	成功作物
13	巻坂市	深江栄融	榎橋	1002	1	1002-1	田	4,530	深江栄融...			水稻	成功作物
14	巻坂市	深江栄融	榎橋	1003	1	1003-1	田	4,018	深江栄融...			水稻	成功作物
15	巻坂市	深江栄融	田中	957	1	957-1	田	1,052	深江栄融...			水稻	成功作物
16	巻坂市	深江栄融	田中	955	1	955-1	田	744	深江栄融...			水稻	成功作物
17	巻坂市	深江栄融	榎橋	1003	2	1003-2	田	3,445	深江栄融...			水稻	成功作物

項目名をダブルクリックしていくことで、昇順、降順の並び替えができます。

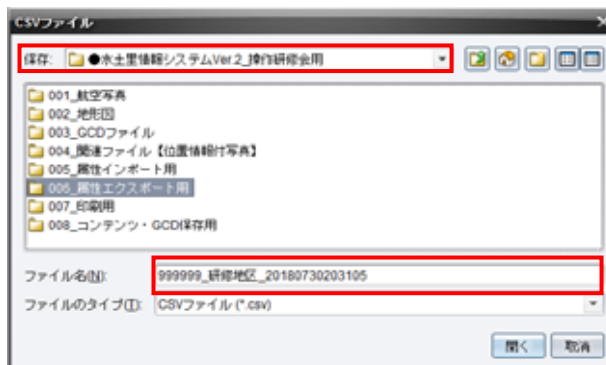
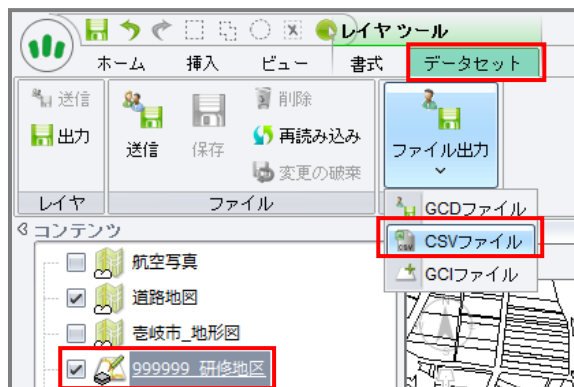
13-2. エクスポート

属性情報を CSV ファイルとして出力することが出来ます。

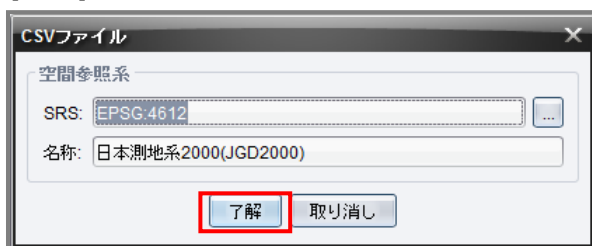
属性情報を出力したいレイヤを選択します。

[データセット]タブ [ファイル出力]パネル [CSV ファイル]をクリックします。

出力ファイル名、保存場所を指定し、[保存]をクリックします。



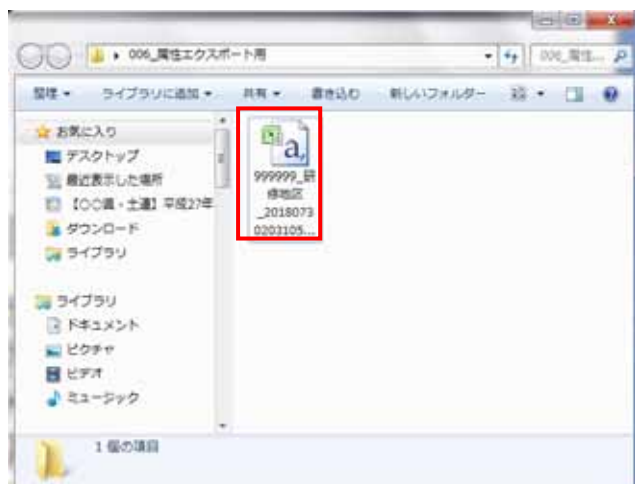
下図のようなメッセージが表示されますので [了解]をクリックします。



属性情報を出力したいレイヤを右クリックして、[ファイル出力] [CSV ファイル]からも出力することが出来ます。



CSV ファイルが出力されます。





不要な列を非表示することで必要な項目のみを出力することが出来ます。

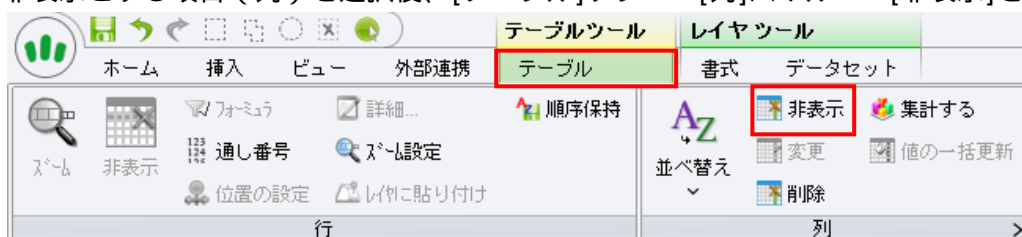
コンテンツウィンドウにてテーブル表示させたいレイヤを左クリックするとテーブルが表示されます

不要な項目（列）を選択し、非表示にします。項目（列）の選択については[Ctrl]キーを押しながら項目（列）を選択すると複数選択できます。

	市町名	大字名	小字名	地番	地番	表示地番	登記簿地目	登記簿面積	突合KEY	子番	孫番	作物	取り込み結果
1	豊城市	初山東融	満浦	1105	1	1105-1	田	1,074	初山東融/...				
2	豊城市	東融	境畑	1964		1964	田	1,449	東融/1964				
3	豊城市	東融	境畑	1960		1960	田	141	東融/1960				
4	豊城市	東融	境畑	1965	1	1965-1	田	631	東融/1965-1				
5	豊城市	東融	境畑	1972		1972	田	886	東融/1972				
6	豊城市	東融	境畑	1946	2	1946-2	田	478	東融/1946-2				
7	豊城市	東融	境畑	1974		1974	田	509	東融/1974				
8	豊城市	東融	境畑	1975		1975	田	1,036	東融/1975				
9	豊城市	東融	境畑	1965	2	1965-2	田	23	東融/1965-2				
10	豊城市	東融	境畑	1945	1	1945-1	田	381	東融/1945-1				
11	豊城市	東融	境畑	1976		1976	田	459	東融/1976				
12	豊城市	東融	境畑	1977		1977	田	476	東融/1977				
13	豊城市	東融	境畑	1978		1978	田	783	東融/1978				
14	豊城市	東融	境畑	1989		1989	田	749	東融/1989				
15	豊城市	東融	境畑	2118		2118	田	345	東融/2118				
16	豊城市	東融	境畑	1983		1983	田	1,031	東融/1983				
17	豊城市	東融	境畑	2119		2119	田	84	東融/2119				

合計: 61,226 フィルタ結果: 61,226 選択: 4列

非表示とする項目（列）を選択後、[テーブル]タブ [列]パネル [非表示]をクリックします。



テーブル一覧で選択された項目（列）が非表示となります。

この状態で、【エクスポート P40】の操作を行います。

	大字名	小字名	表示地番	登記簿地目	登記簿面積	突合KEY	子番	孫番	作物
1	初山東融	満浦	1105-1	田	1,074	初山東融/...			
2	東融	境畑	1964	田	1,449	東融/1964			
3	東融	境畑	1960	田	141	東融/1960			
4	東融	境畑	1965-1	田	631	東融/1965-1			
5	東融	境畑	1972	田	886	東融/1972			
6	東融	境畑	1946-2	田	478	東融/1946-2			
7	東融	境畑	1974	田	509	東融/1974			
8	東融	境畑	1975	田	1,036	東融/1975			
9	東融	境畑	1965-2	田	23	東融/1965-2			
10	東融	境畑	1945-1	田	381	東融/1945-1			
11	東融	境畑	1976	田	459	東融/1976			
12	東融	境畑	1977	田	476	東融/1977			
13	東融	境畑	1978	田	783	東融/1978			
14	東融	境畑	1989	田	749	東融/1989			
15	東融	境畑	2118	田	345	東融/2118			
16	東融	境畑	1983	田	1,031	東融/1983			
17	東融	境畑	2119	田	84	東融/2119			

合計: 61,226 フィルタ結果: 61,226 選択: 0セル

14. 写真データの取込み

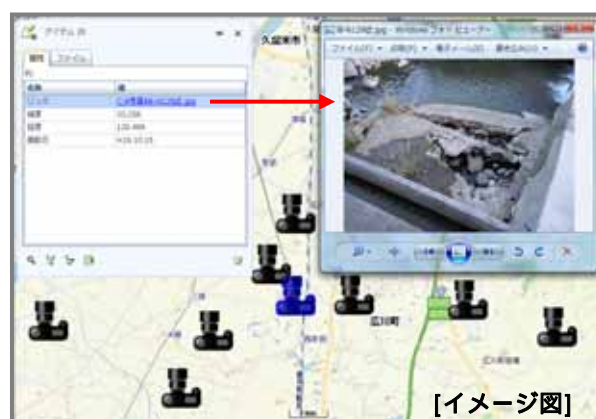
ローカル（利用者端末等）で管理している写真をシステムに取り込むことができます。

写真の取込みには下記 2 パターンがあります。

【 写真を地図画面にそのまま貼付ける場合】



【 レイヤを作成し関連ファイルとして貼付ける場合】

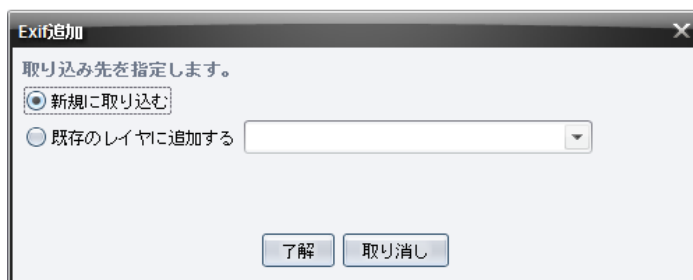
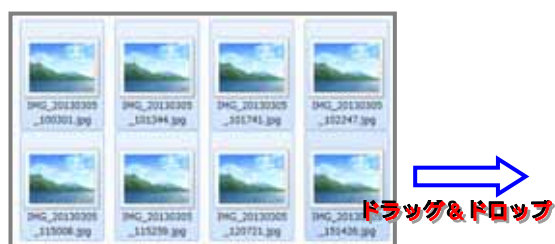


【 写真を地図画面にそのまま貼付ける場合】

地図画面に貼り付けたい写真をローカル上（利用者端末等）で選択します。

選択した写真をシステムへドラッグ＆ドロップすると Exif 追加画面が起動しますので、取込み先を指定します。

[ローカル（利用者端末等）で管理している写真]



全ての写真ファイルが 1 つのレイヤ（Exif 画像）に取り込まれます。

【新規に取り込む】を選択した場合





画像ファイルはローカル（利用者端末等）からのリンクづけのためWeb上への保存はされていません。

画像付きの地図画面を保存したい場合は必ずローカル（利用者端末等）へコンテンツの保存をお願いします。

【 レイヤを作成し関連ファイルとして貼付ける場合】

[挿入]タブ [Exif]パネル [取込み]をクリックします。



ファイル選択の画面が起動します。取り込みたい写真を1枚選択し[開く]をクリックします。

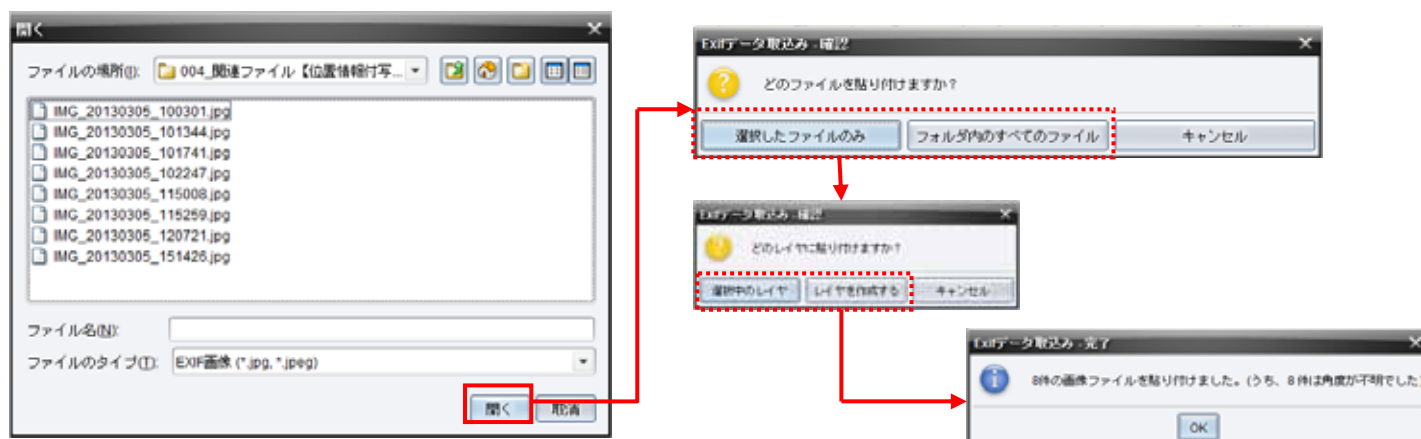
1ファイル選択すると選択したファイルのみを貼り付けるのか、選択したファイルが含まれるフォルダ内のファイル全てを貼り付けるのか選択します。

次にどのレイヤに貼り付けるか選択します。

コンテンツウィンドウで既存レイヤを選択状態にしている場合のみ確認画面が起動します。

既存レイヤに貼り付ける場合は既存レイヤへポイント図形が追加されます。

新規レイヤを作成する場合は[Exif データ取込み]レイヤが新規で生成されます。



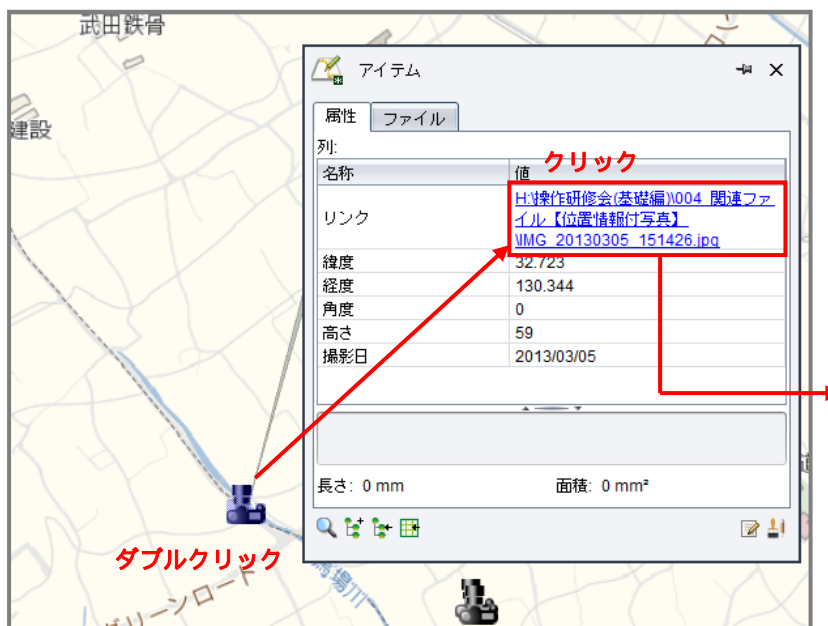
地図画面にカメラのポイント図形（デフォルト）が取り込まれます。

シンボルの変更は【8.主題図機能 P17～】を参考にして下さい。





図形をダブルクリックすると取り込まれた属性が確認できます。
取り込まれる属性内容は撮影カメラの設定に依存しています。



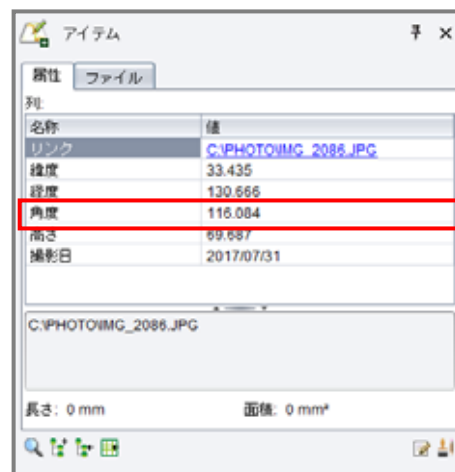
項目名[リンク]に写真のリンク情報が取り込まれています。

リンクの属性値（青文字部分）をクリックすると別画面で写真が起動します。

関連ファイルはリンクデータなので写真を保管しているフォルダを移動した場合は、リンクが切れるのでご注意ください。

角度機能をもったカメラで撮影した写真を取り込むと属性に撮影角度情報が含まれます。（システム内では北向きが角度ゼロ）

図形（カメラマーク）は角度情報によってレンズの向きが変わります。



ただし、カメラの機種によっては撮影向きが 180° 逆になる事象が確認されています。その場合は、取り込んだあとに撮影方向を 90° 単位で回転編集します。

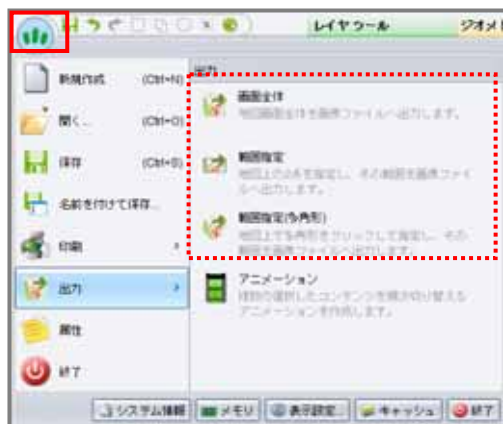


15. 印刷

15-1. 簡易印刷

地図画面を画面コピーで画像ファイルとして保存することが出来ます。資料の添付図等に活用できます。

[ホーム]ボタン [出力] [画面全体]または[範囲指定]または[範囲指定(多角形)]を選択します。

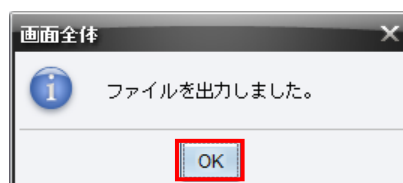


[画面全体]を選択した場合は地図画面に表示されている範囲が画像ファイルで保存されます。

[範囲指定] 及び[範囲指定(多角形)]を選択した場合は地図画面をドラッグして保存範囲を指定します。

保存場所、ファイルのタイプを選択し、ファイル名を手入力します。

保存が正常に終了するとメッセージが起動するので、[OK]をクリックします。



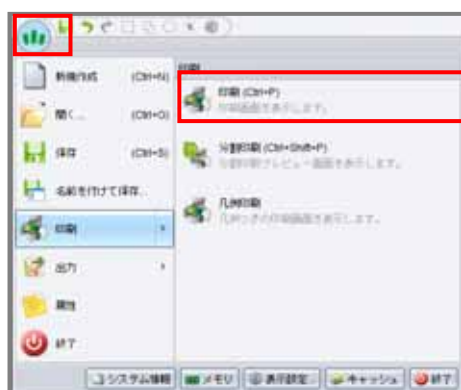
指定した保存場所に画像ファイルが保存されたことを確認します。



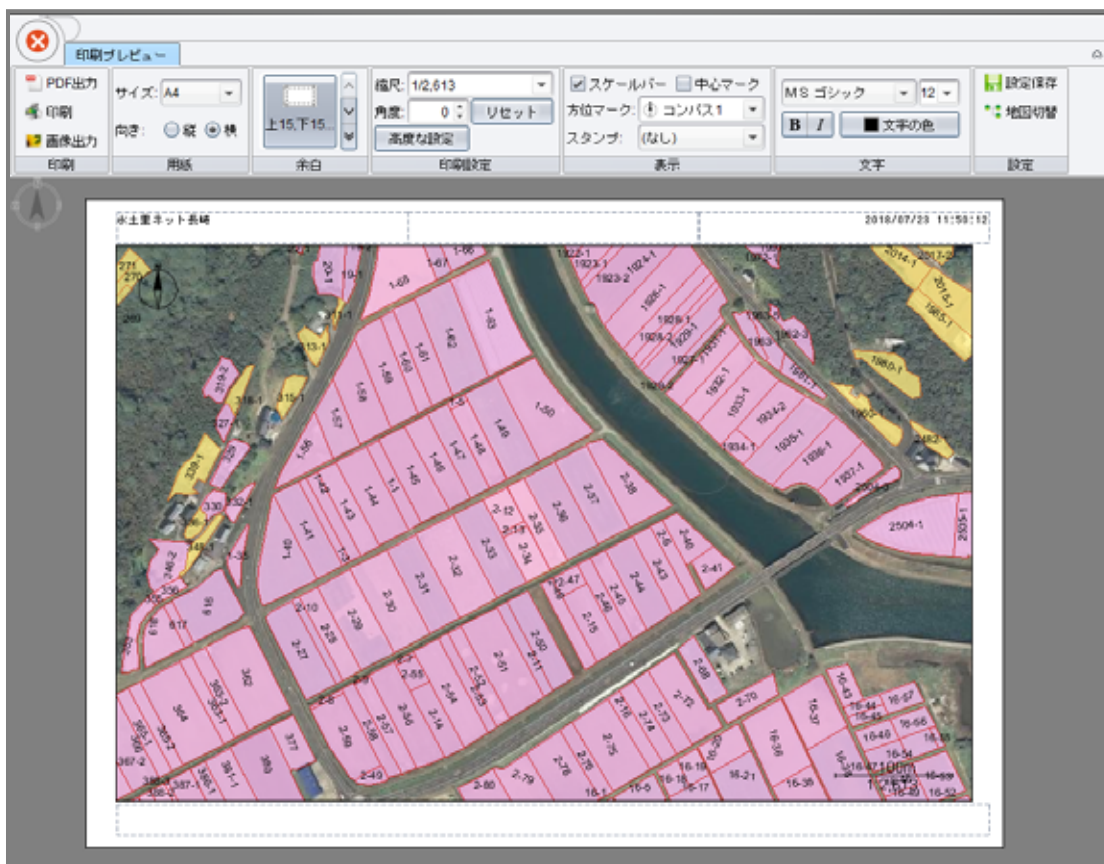


15-2. 通常印刷

[ホーム]ボタン [印刷] [印刷]を選択します。



印刷画面に切り替わります。



[用紙]パネルで用紙のサイズと向きを選択します。



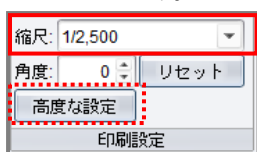
[余白]パネルで図面の余白を設定します。システムに登録されている余白を選択するか、[その他の余白]をクリックすると手入力で余白を設定することができます。





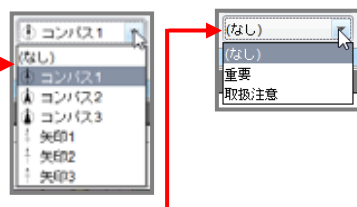
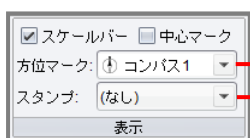
[印刷設定]パネルで地図の縮尺と角度を設定します。

システムに登録されている縮尺を選択するか、手入力で設定を行います。



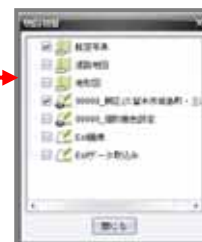
印刷フォントサイズは高度な設定で調整できます。

[表示]パネルでスケールバー、方位マーク、スタンプ等の設定を行います。



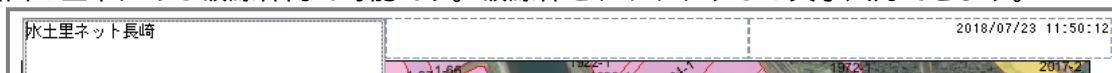
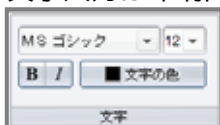
[設定]パネル [地図切替]で表示レイヤの切替と設定保存を行います。

(表示 / 非表示は✓の有無で切替)



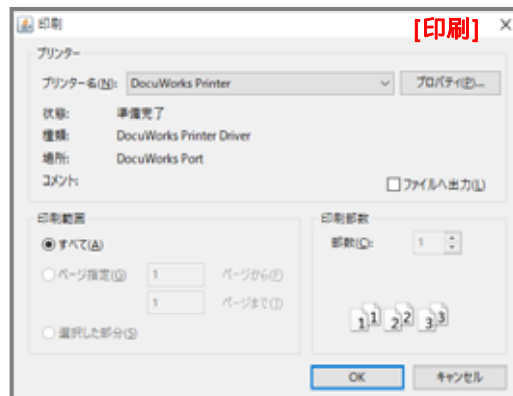
[文字]パネルでタイトル等の文字の設定を行います。

文字入力は印刷画面の上下にある破線枠内で可能です。破線枠をクリックすると文字入力できます。



印刷範囲を動かしたい場合は、印刷画面の地図を動かしたい方向へドラッグすると範囲が移動します。
設定が終わったら、[印刷]パネルで[PDF 出力]または[印刷]を選択します。

[PDF 出力]を選択した場合は保存場所を、[印刷]を選択した場合は出力するプリンターを選択します。



設定した地図が印刷されます。

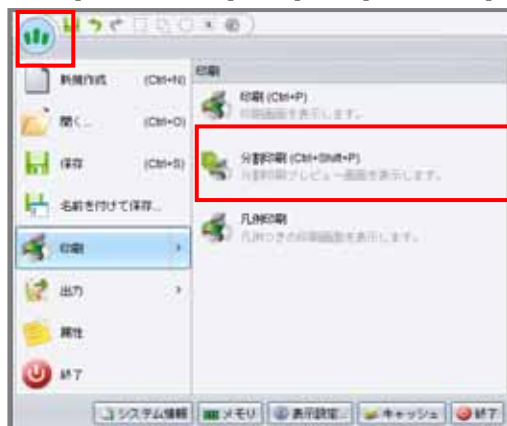




15-3. 分割印刷

広範囲の地図を出力するときにその範囲を指定したサイズ等で分割して印刷します。

[ホーム]ボタン [印刷] [分割印刷]を選択します。



分割印刷画面に切り替わります。

印刷の詳細設定は前項の【15.2.通常印刷 P46～47】を参照して下さい。

分割印刷の場合は印刷範囲が地図画面上に表示されるので枠線上にある または にカーソルを当て、ドラッグすると印刷範囲枠を調整することができます。

また、印刷範囲枠内にカーソルを持っていきドラッグすると枠を移動することも可能です。

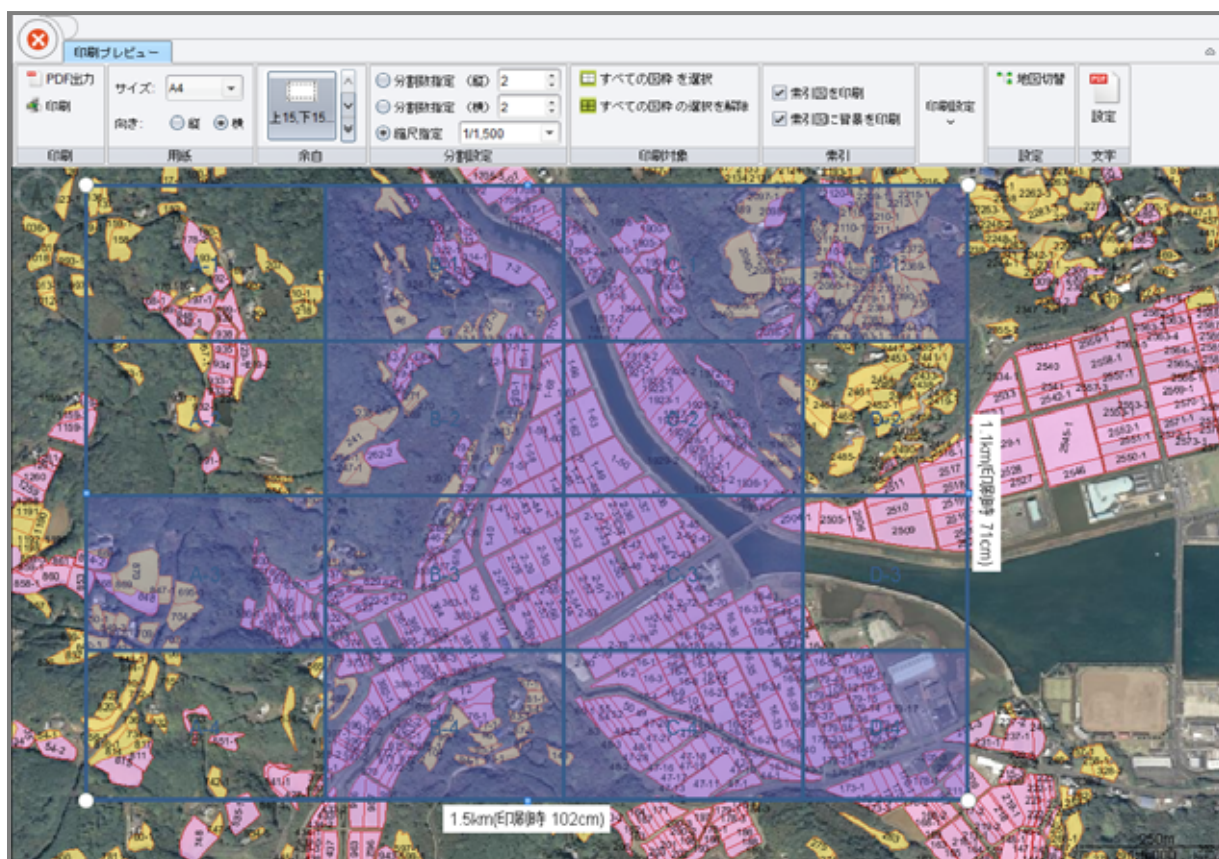


[分割設定]パネルで分割の方法を選択します。

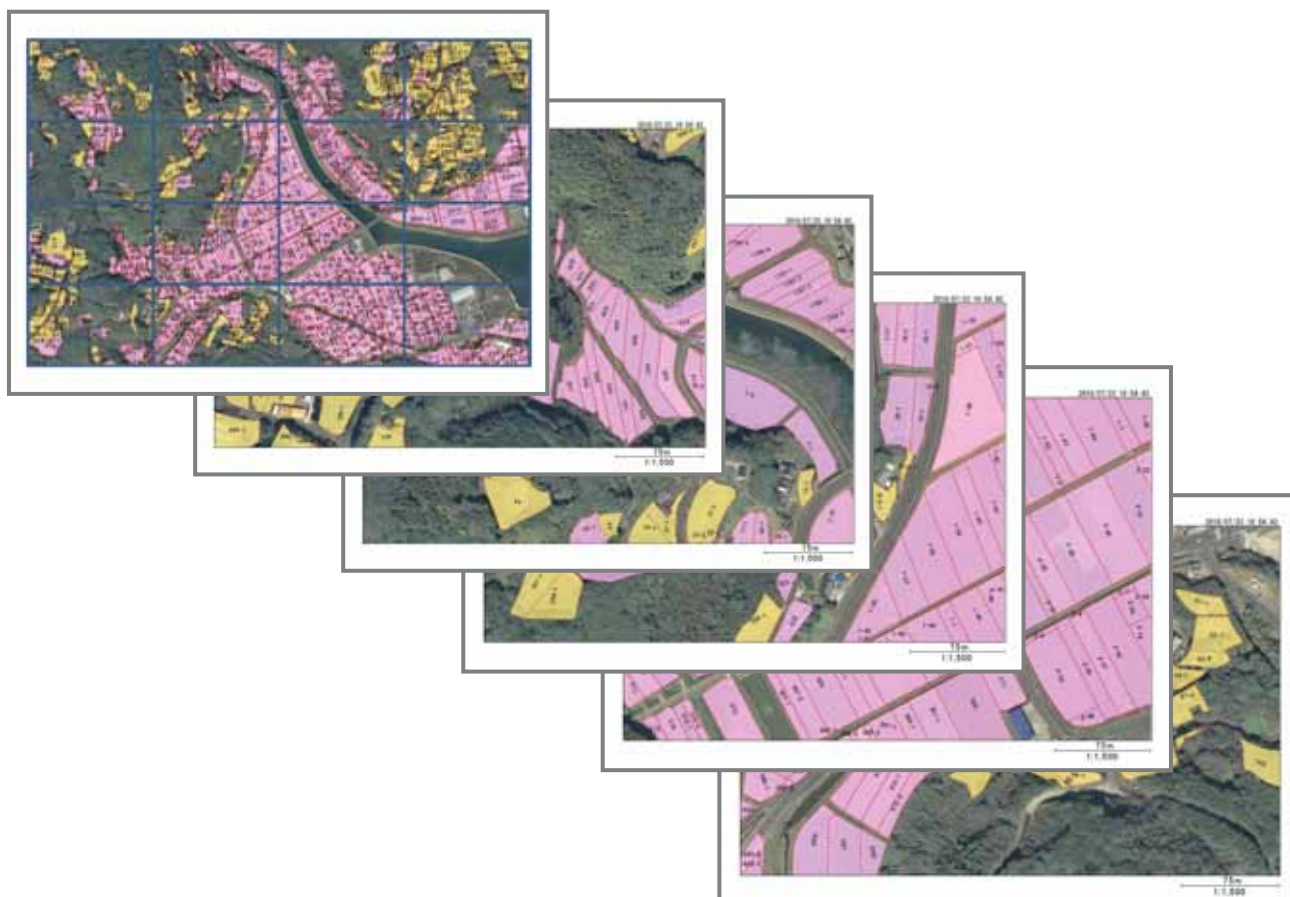




分割された図面枠をクリックすると印刷の対象・対象外を切り替えることができます。
ハッチングされている図面枠が印刷対象、ハッチングなしが印刷対象外です。



設定が終わったら、[印刷]パネルで[PDF 出力]または[印刷]を選択します。
設定した地図が印刷されます。1 枚目は印刷範囲(図郭)図、2 枚目以降が各図郭の地図印刷です。

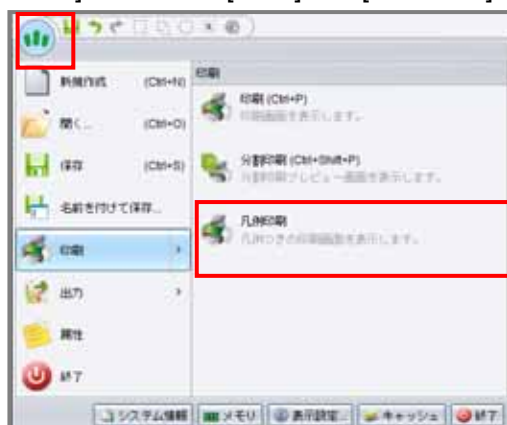




15-4. 凡例印刷

凡例の入った地図を出力するときに凡例印刷を行います。

[ホーム]ボタン [印刷] [凡例印刷]を選択します。



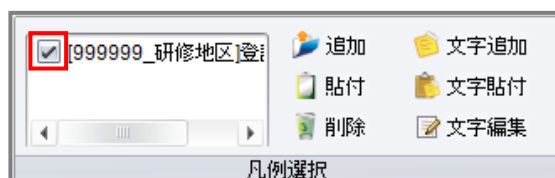
凡例印刷画面に切り替わります。

印刷の詳細設定は前項の【15.2.通常印刷 P46～47】を参照して下さい。

凡例印刷の場合は[凡例選択]パネルで表示したい凡例を選択します。

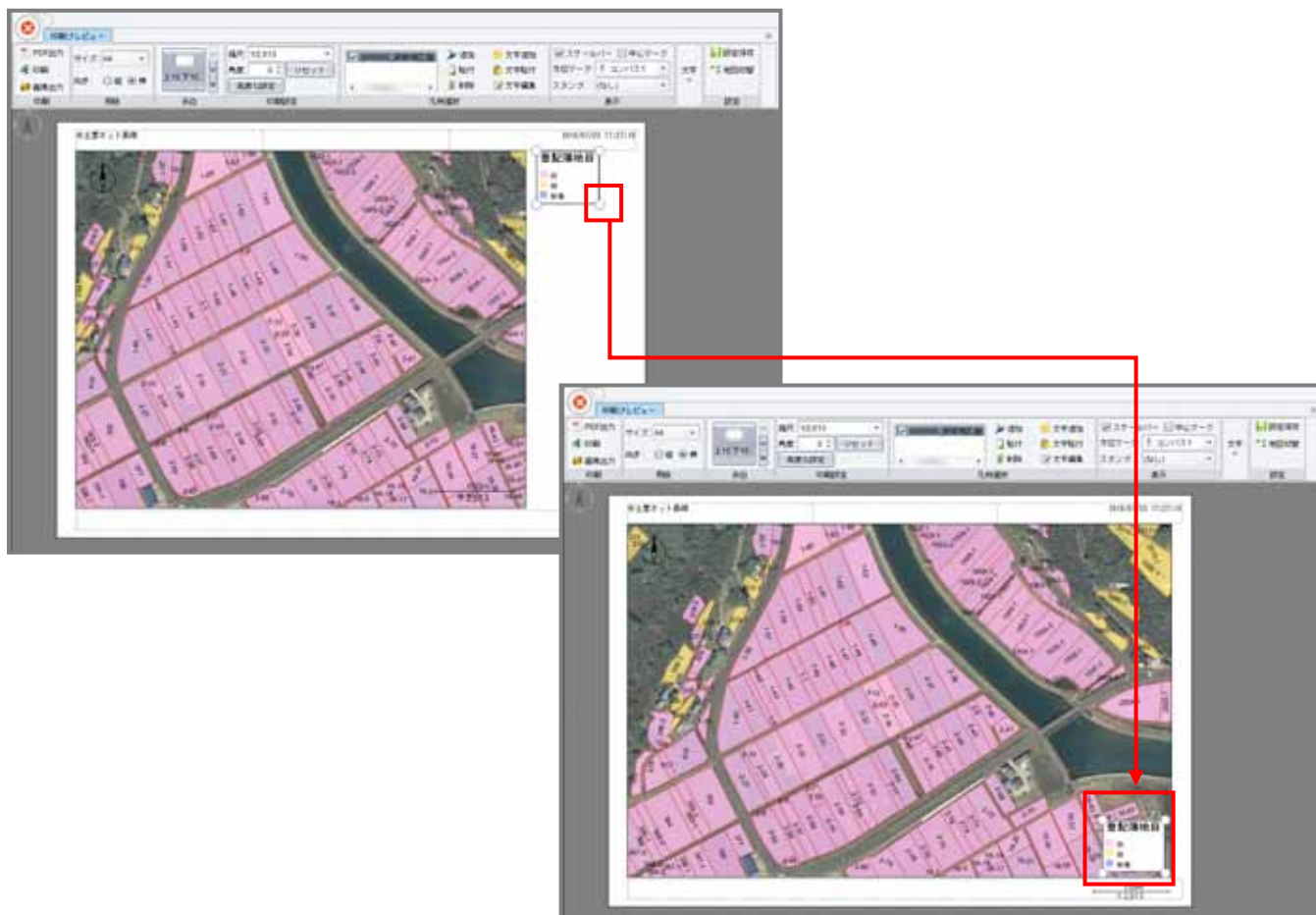
凡例の表示/非表示は☑の有無で切替ます。

[削除]をクリックすると選択している凡例が削除されます。



また、凡例枠の角にある にカーソルを当て、ドラッグすると凡例の大きさを調整することができます。

凡例枠内にカーソルを持っていきドラッグすると枠を移動することも可能です。





設定が終わったら、[印刷]パネルで[PDF 出力]または[印刷]を選択します。

[PDF 出力]を選択した場合は保存場所を、[印刷]を選択した場合は出力するプリンターを選択します。

設定した地図が印刷されます。

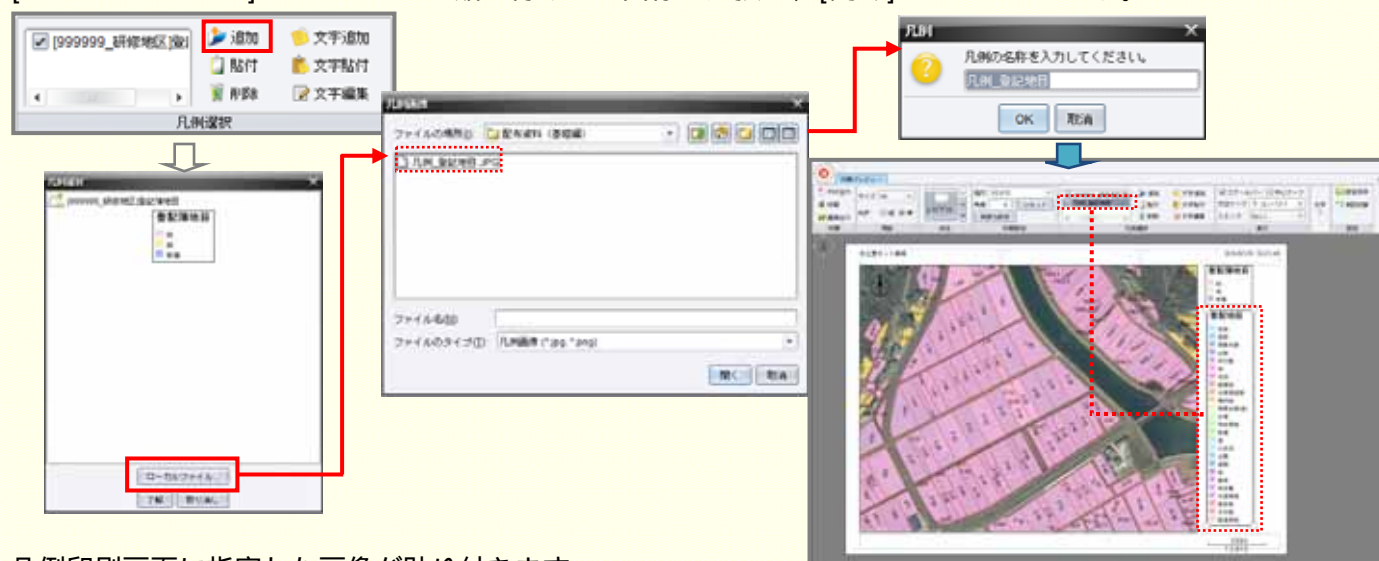


その他の機能

画像の貼付・・・凡例印刷画面にローカルの画像を貼り付ける方法です。

[凡例選択]パネル [追加]をクリックします。

[ローカルファイル]をクリックして貼り付けたい画像を選択し、[開く]をクリックします。



凡例印刷画面に指定した画像が貼り付きます。

表示 / 非表示等の設定は[凡例選択]パネルで行えます。設定の仕方は P50 を参考にしてください。

参考 MEMO

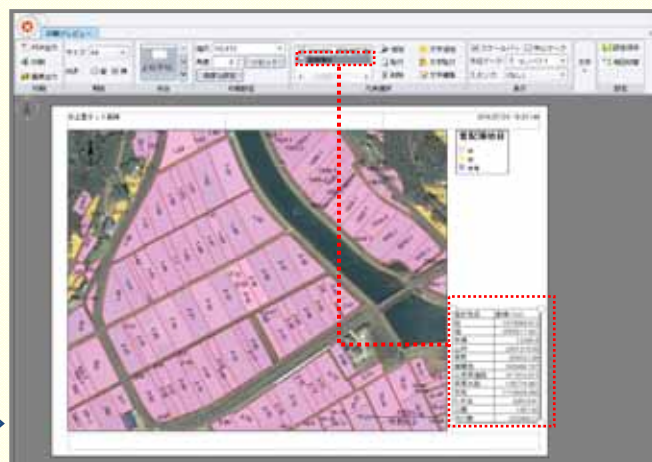
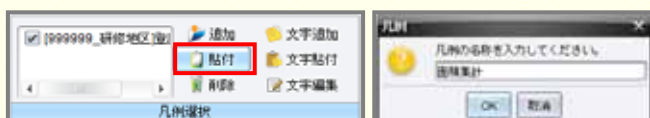
クリップボードの貼付・・・凡例印刷画面にクリップボードを貼り付ける方法です。

【例】Excel にて作成した表を凡例印刷画面に貼り付けます。

まず、Excel で貼り付けたい表範囲をコピーします。

登記地目	面積(m2)
田	1974669.61
畑	355551.74
牧場	12386
山林	2851.2185
原野	83423.12
雑種地	343469.70
公共用道路	31731.031
河川水路	105774.96
宅地	1118928.46
ため池	6350.54
公園	1857.6
河川敷	202886.2

次に[凡例選択]パネル [貼付]をクリックします。

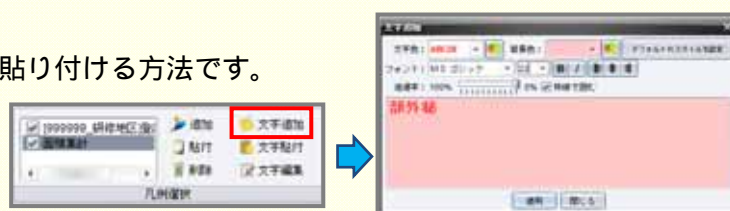


凡例印刷画面に指定した Excel 表 (クリップボード) が貼り付きます。

ただし、画像として貼り付くためシステム内での編集はできません。編集は必ず Excel 側で行って下さい。

文字追加・・・凡例印刷画面に任意の文字を貼り付ける方法です。

[凡例選択]パネル [文字追加]をクリックし設定します。

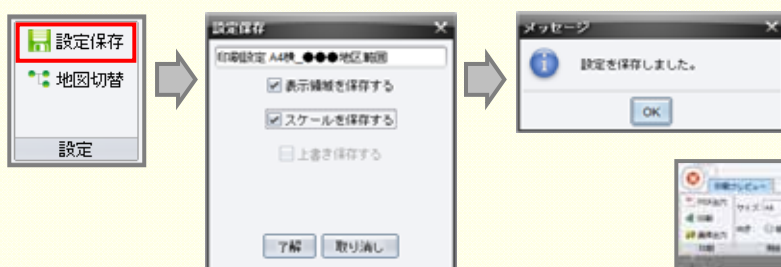


設定の保存・・・印刷設定を保存し、次回以降の印刷をスムーズに行う機能です。

通常印刷及び凡例印刷のみの機能です。分割印刷では行えません。

設定が終わったら、[設定]パネル [設定保存]をクリックします。

設定名を手入力し、表示領域及びスケールの保存を行うかチェックボックスにて選択します。



地図画面に戻るとコンテンツウィンドウ内に保存した設定状態が作成されます。



設定の名称部分をクリックすると設定した印刷画面へと切り替わります。



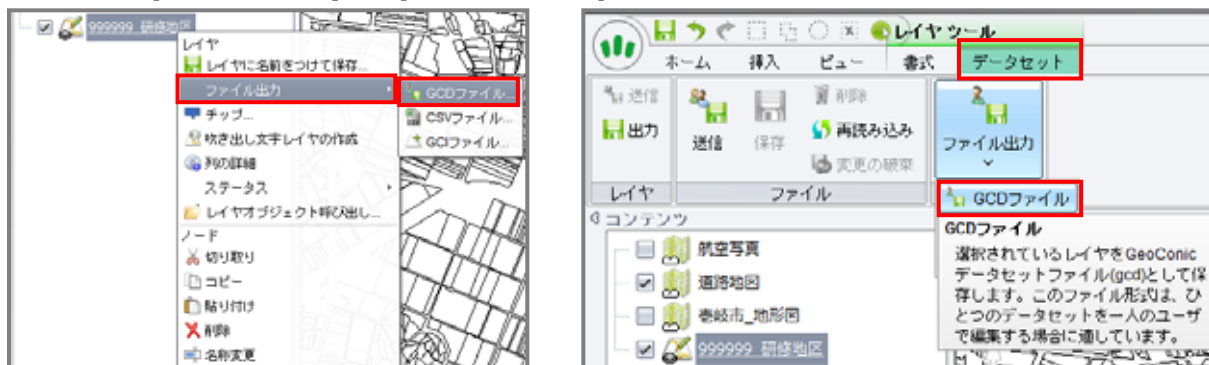
16. 保存

作業が終わったらデータを保存します。ただし、Web上への保存は禁止しています。Web上でデータ共有したい場合は水土里ネット長崎へご相談下さい。作業を行ったデータはローカルへ保存を行います。

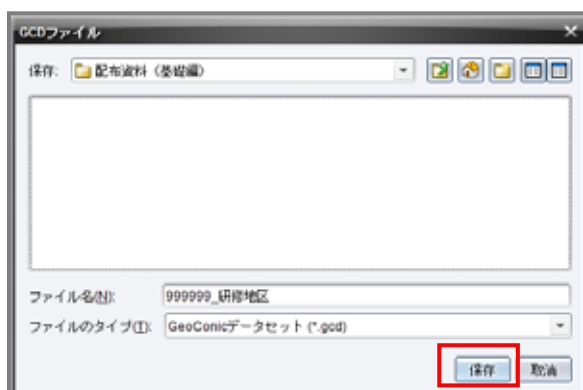
16-1. データセットの保存

保存したいレイヤで右クリック [ファイル出力] [GCD ファイル]を選択します。

または保存したいレイヤをコンテンツウィンドウで選択し、[データセット]タブ [ファイル出力] パネル [ファイル出力] [GCD ファイル]をクリックします。



ファイルの保存先を選択し、ファイル名をつけて[保存]をクリックします。

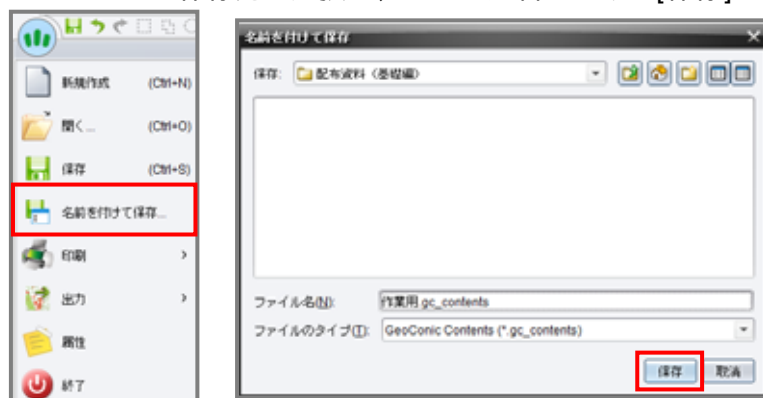


保存した GCD ファイルは、コンテンツヘドラッグ&ドロップで読み込むことが可能です。ただし、色分・ラベル表示・フィルタ等の付加機能（設定したもの）は保存されません。付加機能（設定した状態）も保存したい場合は[16.2.コンテンツの保存]を行って下さい。

16-2. コンテンツの保存

[ホーム]ボタン [名前を付けて保存]を選択します。

ファイルの保存先を選択し、ファイル名をつけて[保存]をクリックします。

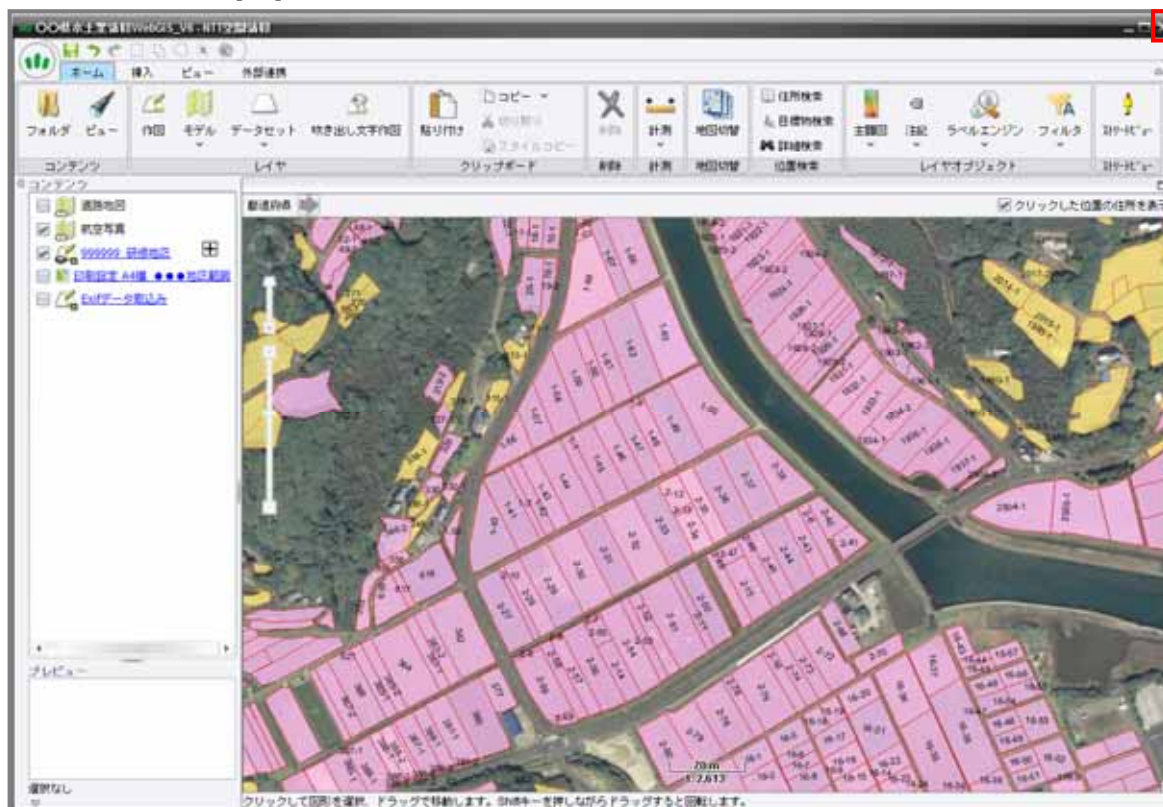


ローカルに保存したコンテンツを読み込みたい場合は【1.ログイン P3】を参考にして下さい。



17. システムの終了

画面の右上にある[×]をクリックして終了して下さい。



または[ホーム]ボタン [終了]を選択します。



保存していないデータがある場合は、保存確認のメッセージが表示されます。